

(議員用)

平成31年4月10日

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



平成30年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、平成30年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 950,000 円

科 目	金 額
研究・研修会費	296,828 円
調査費	- 円
広報費	586,998 円
広聴費	158,368 円
要請・陳情活動費	- 円
資料作成・購入費	11,714 円
人件費	39,060 円
事務費	4,708 円
合 計	1,097,676 円

3 残 額 -147,676 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (296,828 円)	(1) 会場費 (2) 講師謝金・旅費 (3) 出席者負担金・会費 (4) 旅費 (5) 交通費 (6) その他	- 円 - 円 98,380 円 198,448 円 - 円 - 円
調査費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) その他	- 円 - 円 - 円
広報費 (586,998 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費 (2) 送料 (3) 会場費 (4) その他	266,900 円 320,098 円 - 円 - 円
広聴費 (158,368 円)	(1) 交通費 (2) 会場費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 3,500 円 25,700 円 129,168 円
要請・陳情活動費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
資料作成・購入費 (11,714 円)	(1) 資料作成費 (2) 翻訳料 (3) 書籍・新聞等購入代 (4) その他	158 円 - 円 11,556 円 - 円
人件費 (39,060 円)	(1) 賃金	39,060 円
事務費 (4,708 円)	(1) 文房具代 (2) 備品費 (3) 電話料 (4) その他	4,708 円 - 円 - 円 - 円

平成30年度 政務活動費会計帳簿

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

支出番号	月日	支出先	支出内容	金額	科目・内訳	ポイント	ポイント 分減額	コード
1	4月4日	東京カラー印刷(株)	市議会通信第27号印刷代 14,000枚	62,800	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
2	4月10日	(株)インプレス	市議会通信第27号(支出書No1)ポスティング料 10,000枚 振込手数料¥432含む 配布先は別紙添付	56,592	3 広報費 2 送料	無		302
3	4月13日	宝塚郵便局	市議会通信第27号(支出書No1)郵送料 区内特別基(定)@72×338通 第1種定形@82×11通(西谷郵送分) デビットアトキソン「新・生産性立国論」 宝塚台教費@4,850×2	24,418	3 広報費 2 送料	無		302
4	4月14日	紀伊国屋書店	宝塚台教費@4,850×2	1,620	6 資料作成・購入費 3 書籍・新聞等購入代	無		603
5	4月17日	西日本旅客鉄道(株)	「第13回地方議員特別セミナー」参加費	9,700	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
6	4月17日	地方自治学習会	出張調査報告書及び領収書は支出書No5に添 宝塚台東京@14,160×2・宿泊料¥9,800	5,000	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
7	4月25日	西日本旅客鉄道(株) ・アパホテル神田駅前	宝塚台東京@14,160×2・宿泊料¥9,800	38,120	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
8	4月25日	地方から考える「社会 保障フォーラム」事務局	第15回地方から考える「社会保障フォーラ ム」セミナー参加費 振込手数料 ¥216含む 出張調査報告書は支出書No7に添付	27,216	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
9	5月10日	西日本旅客鉄道(株) ・相鉄レックスイン御 茶ノ水神保町	宝塚台御茶ノ水@14,160×2・宿泊料 ¥11,800	40,120	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
10	5月10日	(財)日本自治創造学 会	5/10~5/11日本自治創造学会参加費¥11,000 日本自治創造学会平成30年度年会費¥2,000 出張調査報告書は支出書No9に添付	13,000	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
11	5月22日	宝塚市役所	4月分複写機使用料	148	6 資料作成・購入費 1 資料作成費	無		601
12	6月14日	宝塚市役所	5月分複写機使用料	10	6 資料作成・購入費 1 資料作成費	無		601
13	6月20日	(株)ぎょうせい	月間「ガバナンス」年間購読料 H30.4~ H31.3 振込手数料¥216含む	9,936	6 資料作成・購入費 3 書籍・新聞等購入代	無		603
14	5月19日	宝塚市立地域利用施設 御殿山会館管理運営委 員会	5/19市民への市議会報告と意見聴取 会議室 利用料	1,500	4 広聴費 2 会場費	無		402
15	4月28日	JR	4/28宝塚台立花@410×2	820	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
16	4月28日	谷岡塾運営チーム	4/28「第1回谷岡塾」参加費として 出張調査報告書は支出書No15に添付	2,000	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103

平成30年度 政務活動費会計帳簿

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

支出番号	月日	支出先	支出内容	金額	科目・内訳	ポイント	ポイント分減額	コード
17	6月20日	一般社団法人マニフエ スト研究会	7/11~7/12 全国地方議会サミット2018「議 会のチカラで日本創生」 参加費 振込 手数料216を含む	10,216	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
18	7月11日	JR 東京メトロ 楽天	7/11-7/12 JR:宝塚⇄東京@14,160×2 東京メトロ:大手町⇄早稲田@165×2(領収 書なし) 楽天:7/11宿泊料¥9,500(京 王プレッツイン九段下) 出張調査報告書は支出書No17に添付	38,150	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
19	7月23日	(公財) 全国市町村 研修財団 全国市町村 国際文化研修所	7/25-7/26 第2回「自治体決算の基本と実践~行政評価 を活用した決算審査~」参加費 振込手数料¥216を含む	7,516	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
20	7月25日	JR	7/25-7/26 宝塚⇄唐崎@1,490×2 出張調査報告書は支出書No19に添付	2,980	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
21	7月18日	東京法令出版(株)	7/31 10:00~「戦略的議会運営」参加費 ¥15,000 14:00~「議会の強化」参加費¥15,000 振込手数料¥432を含む	30,432	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
22	7月31日	JR	7/31 宝塚⇄東京@14,160×2 出張調査報告書は支出書No21に添付	28,320	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
23	8月5日	シンポジウム事務局	第5回議会事務局研究会 シンポジウムin大 阪 参加費	3,000	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
24	8月5日	阪急電車	宝塚⇄梅田@280×2 出張調査報告書は支 出書No23に添付	560	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
25	7月14日	東京カラー印刷(株)	市議会通信第28号印刷代	62,800	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
26	7月18日	アスカル(株)	カラー封筒 長3ピンク 1,000枚	4,168	8 事務費 1 文房具代	無		801
27	7月23日	(株)インプレス	市議会通信第28号(支出書No25) ポステイ ング料 10,000枚 振込手数料¥432を含む	56,592	3 広報費 2 送料	無		302
28	7月24日	宝塚郵便局	市議会通信第28号(支出書No25) 郵送料 区内特別基(定) @72×335通 1 種定形@82×1(西谷郵送分) ステイックのり@108×5	24,202	3 広報費 2 送料	無		302
29	7月23日	DAISO 逆瀬川店	8/18市民への市議会報告と意見聴取 会議室 利用料 空調料含む	540	8 事務費 1 文房具代	無		801
30	8月18日	宝塚市立地域利用施設 御殿山会館管理運営委 員会		2,000	4 広聴費 2 会場費	無		402

## 平成30年度 政務活動費会計帳簿

(会派名または議員名

浅谷 亜紀)

支出番号	月日	支出先	支出内容	金額	科目・内訳	ポイント	ポイント 分減額	コード
31	7月20日	(株) プリントパック	会派公聴会案内印刷代 会派で作成の為5等分とする 1人当たり¥25,700 原本は富川議員の支出書No.6に添付	25,700	4 広聴費 3 印刷費	無		403
32	8月29日	ジャパนมメッセ ン ジャーサービ ス (株)	会派公聴会案内 (支出書No.31) ポスティング 料 会派作成案内ポスティングの為5等分とする 1人当たり¥129,168 原本は富川議員の支出書No.7に添付	129,168	4 広聴費 4 その他	無		404
33	10月18日	東京カラー印刷 (株)	市議会通信第29号印刷代15,000枚	70,050	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
34	10月30日	宝塚郵便局	市議会通信第29号 (支出書No.33) 郵送料 区内特別基 (定) @72×236通	16,992	3 広報費 2 送料	無		302
35	10月29日	(株) インプレス	市議会通信第29号 (支出書No.33) ポステー ング料 10,800枚 振込手数料¥432を含む	61,084	3 広報費 2 送料	無		302
36	10月23日	J R 楽天 (株)	10/23-24 J R 宝塚⇄大崎@9,290×2 (運 賃) 新大阪⇄品川@4,870×2 (新幹線自由 席) 私鉄 大崎⇄国際展示場@ 329×2 宿泊¥10,700 (東横イン品川港南口天王洲ア イル)	39,678	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
37	11月12日	東京カラー印刷 (株)	市議会通信第29号 (支出書No.33) 追加印刷代 700枚	10,390	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
38	12月28日	東京カラー印刷 (株)	市議会通信第30号 印刷代14,000枚	60,860	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
39	1月18日	宝塚郵便局	市議会通信第30号 (支出書No.38) 郵送料 区 内特別基 (定) @72×327通 第1種定形@ 82×11通 (西谷分)	23,626	3 広報費 2 送料	無		302
40	1月16日	(株) インプレス	市議会通信第30号 (支出書No.38) ポステー ング料 10,000枚 振込手数料¥432含む	56,592	3 広報費 2 送料	無		302
41	4月30日	■■■■■■■■■■	4月分手当 大川議員と2分の1ずつの支出 ¥1,370	1,370	7 人件費 1 賃金	無		701
42	5月31日	■■■■■■■■■■	5月分手当 大川議員と2分の1ずつの支出 ¥4,110	4,110	7 人件費 1 賃金	無		701
43	6月30日	■■■■■■■■■■	6月分手当 大川議員と2分の1ずつの支出 ¥5,480	5,480	7 人件費 1 賃金	無		701



別紙様式1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	広報紙・報告書印刷費	支出番号	1
支 出 日	平成30年4月4日		支出金額	62,800 円	
支 出 先	東京カラー印刷 (株)				
支出内容	市議会通信第27号印刷代 14,000枚				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

領収日 2018年4月4日 担当：システム

領収書番号 V087979-1

担当者名の無い領収書は無効です。必ずご確認ください。

毎々ありがとうございます

東京カラー印刷株式会社  
120-0024 東京都中央区住吉  
〒100-0027

宝塚市議会 新風改革の会 浅谷亜紀 様

TEL 03-5284-1173  
FAX 03-5284-1174

お支払：ペイジー (クレジットカード)

品名 チラシフライヤー： 数量 14,000枚

金額 ¥62,800 ※(税込) (内消費税 ¥4,652 )

※ペイジー決済につき印紙の添付は省略させていただきます

# 御見積書

受注番号  
御見積日 2018年4月4日

宝塚市議会 新風宝塚改革の会

様

御見積書合計金額(税込み)

¥62,800



東京カラー印刷株式会社

〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27  
TEL:03-5284-1173  
FAX:03-5284-1174

NO	項目/内容	単価	金額
1	商品名：チラシフライヤー 送り状品名：あさたに亜紀市議会通信30.3 納期：5営業日以内仕上 完了予定日：2018年4月10日 用紙：コート73kg 用紙サイズ：A3 印刷色数：両面フルカラー 合計ページ数：2 部数：14,000 枚		¥49,300
	オプション： 十文字四つ折り(+12,300円)		¥12,300
	送料： 代引き手数料： ご利用ポイント：		¥1,200 ¥0 0P
	支払方法：ペイジー (クレジットカード)		
	配送先： 配送先1：兵庫県 お名前：■■■■様 配送先2：大阪府 お名前：■■■■		
		総合計(税込)	¥62,800

※御見積の有効期限は御見積日から満5日です。



- 1/4 初出席 商工会議所新年互礼会 出席
- 7 消防出初式 出席
- 8 成人式典 出席
- 9 文教生活常任委員会所管事務調査
- 11-12 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「防災と議員の役割」
- 15 広報広聴委員会
- 16 すみれが丘小学校オープンスクール 来校
- 17 市総合防災訓練 議会運営委員会
- 18-19 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に」
- 20 おしやべりサロン開催
- 23 認知症サポーター連続講座 1 出席
- 24-26 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」
- 30 認知症サポーター連続講座 2 出席
- 2/1 広報広聴委員会
- 5 校区人権啓発推進委員会講演会 参加  
池田自治会 福祉食事会 出席
- 6 認知症サポーター連続講座 3 出席
- 7 文教生活常任委員会 事務調査
- 14 議会本会議 広報広聴委員会
- 15 放課後教室すみれが丘広場開催 見守り参加
- 16 コミュニティすみれが丘広場ネットワーク会議 出席
- 18 エステイオ1 番館 おもちつき 参加
- 23・26・27 議会本会議・代表質問、議員総会
- 28 文教生活常任委員会
- 3/2 コミュニティすみれが丘 見守り参加
- 3 放課後教室すみれが丘広場開催 見守り参加
- 4 すみれが丘公園遊具に関する意見交換会 出席
- 5 文教生活常任委員会
- 9・12・13・14・16 予算特別委員会
- 9 市立中学校卒業式出席
- 自治体評価研究報告・交流会 (京都府立大) 出席
- 10 おしやべりサロン開催
- 11 タカラツカ☆未来コングレス  
(甲子園大学生と議員との意見交換会)
- 15 議会研修 (新名神高速道路宝塚北サービスエリア(見学))
- 19 健康診断受診 (宝塚市立健康センター)
- 22 市立小学校卒業式出席
- 23 常任委員協議会
- 24 市立病院がんセンターオープン記念講演・内覧会出席
- 26 議会運営委員会
- 27 議会本会議 議決
- 30 地方議会総合研究所「質問力・議会力研修」参加

タカラツカ☆未来コングレス



「タカラツカ☆未来コングレス」開催

宝塚市議会では「開かれた議会」を目指して議会基本条例を制定し、多くの市民に議会に関心を持ってもらえるよう「広報広聴委員会」を設置しています。今年度からその委員を務めており、議会報告がけしやべりや議会HP、議会報告会、意見交換会など活動は広範囲ですが、今般、「若者の意見を取り入れよう」と、市内にある甲子園大学にご協力いただき「タカラツカ☆未来コングレス(代表者会)」を開催。意見交換会としては7月目ですが、大学との連携は初めてです。大学側から示されたテーマ毎に議員も別れ、チームを構成し議論しました。

- ・Aグループ：学生生活と宝塚市の地域
- ・Bグループ：管理栄養士が宝塚市にかかわること
- ・Cグループ：地域の農業と食品
- ・Dグループ：市のメンタルヘルス行政

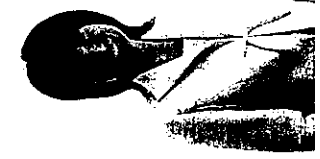
頂いたご意見の中には「宝塚市と大学のコラボで農作物の加工品を作っては」大学で行っている発酵漬物、味噌の相談に御発言が殺到。別カ場も設ける必要がある「市内に若者が立ち寄る場をもっと充実してほしい」などあり、今後検討していきたいと思えます。

この取り組みは大変素晴らしいものでした。今後とも大学との連携を求め、若者や研究者の意見を政策提案に繋げられる体制を整えていきたいと思えます。

「おしやべりサロン」開催します！

議員として、諸課題の判断の元となるのは市民のみなさまの「声」です。どうぞお気軽にお立ち寄りください！

- 5月19日(土) 午後1時～5時
- 地域利用施設 御殿山会館  
宝塚市御殿山2丁目1番81号
- 閉会バス停  
「御殿山2丁目」より徒歩3分
- 駐車場あり  
至 すみれが丘 御殿山二丁目 池  
御殿山会館  
あゆみ保育園  
御殿山児童館  
至 歌劇団前交差点



第27号

宝塚市おしやべりサロン ☎ 078-835-1509 ☎ 代表者会 ☎ 77-9109 白毛 ☎ 81-1825 ☎ eki-asatani@akiasatani.jp

■ 宝塚市議会議員 無所属 新風改革の会

# あきたし 紀 亜紀

## ひとりひとりが輝くまちに

■ 2017年度 春のたより

# 市議会通信

■ 第27号

■ 宝塚市立病院「がんセンター」オープン

宝塚市立病院に「がんセンター」を開設しました。「がんセンター」の理念は「標準的ながん治療とがん支援を地域完結型で市民のために」データに基づいた医療で外科・化学療法・放射線治療を提供し、患者さんとご家族を医師や看護師、薬剤師など多職種チームで快適な環境のもと安全で確実な治療を支援し、がん診療支援センターでは専門スタッフが費用など側面的なカウンセリングや情報提供も行って参ります。

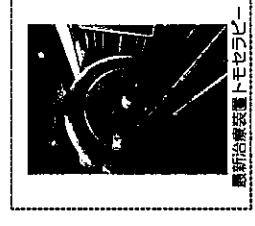
設置された高精度放射線治療装置「トモセラピー」は関西以南で初の導入で、性能が高く素晴らしい機器です。センター整備には、建物も加えると約11億円という費用が必要でもあったため、市内の民間病院ではなかなか不可能でしたが、今後の医療を考えたならば必要性が大変高いことから、公設病院として整備に踏み切りました。

生涯でガンと診断される確率は、男性では62%・女性では46%であり「2人に1人」と言えます。放射線治療は、ある一定の期間ほぼ毎日治療が必要であることから、遠方の病院に通うことで患者の負担は大変大きくなります。そういった意味からも、市民に寄り添う公立病院として、近くで安心して治療を受けて頂ける整備が望まれました。

「わたしたちは、あなたとご家族が歩んできた人生、これからの生活に望む事を教えていただき、最善と思える治療方法を提案したり、治療しながら生活をしていただく知恵や情報の整理をお手伝いする専門スタッフからなるがんセンターを作りました。」

「がんは日進月歩、最新医学の情報を揃えることができる人材がここにはいます。どこで治療を受けても構いません。不安を抱えながら遠くに出向く前に、まずは傍らにいらっしゃるわたしたちとお話してみませんか」

(がんセンターパンフレットより)



■ 宝塚市立病院 H30年度予算案 可決

収入総額	114億7866万4千円
支出総額	118億522万6千円
収支差引	3億2656万2千円

市民の皆様へ、しっかりと寄り添えますように。

の赤字予算・・・ 内面に続く

■文化芸術施設 工事諸案  
 賛成多数可決  
 整備が進んでいる文化芸術施設事業（カーテンフールズ跡地）について、工事請負契約に関する議案（16億8156万円）が出され、議会で賛成が大きいことが明らかになりました。

私は事業開始当初、「今後の高齢化社会では生活を守ることに多くを予算を要する。計画にない土地を目的もなく購入し、新たなハコモノを整備し管理するような財政的余裕はない」と反対しましたが、議会で反対多数で止められなかったため、その後、当事業は市民を巻き込みながら基本計画・設計と進んでいます。この事業は国の交付金（約40%）を得て進めており、計画には「5年間」という期限があります。

ここまできて計画を止めたり遅らせたりすれば、逆に交付金の一括返済（約12億6千万円）や工期の短縮など大きなリスクを負う可能性が高くなり、多くの市民に協力を願って進めてきていることから、立ち止まる時期はとうに過ぎていると考えます。

ただ、期限付きの事業に対する市の計画管理の甘さは、指摘しなければいけないところですが、市は、当事業の重要性を大変高く設定。必ず市民が誇れる魅力ある文化芸術施設とするため、議会もよりよい案を提示しながら全力で共に進めるべきだと考え、議案に賛成しました。

■代表質問・予算・職員会の質疑答弁より  
 ・保育所待機児童対策：市は、待機児童対策として30.31年度の2ヶ年計画で2園の私立保育所を誘致し、240名の定員を確保する計画です。今後も子育て支援や男女共同参画の視点から、整備を進めてもらうよう注視して参ります。

・手塚治虫記念館リニューアール事業：H16年のオープン以来、初の大規模なリニューアールを行います。展示、英語表記、ブランドフロア・出入り口の他、デジタル技術を使用した展示物など手塚プロと協議中。

・特別警戒区域レッドゾーン指定：県が長尾山系の調査をし、武庫川左岸地区の53箇所に対して特別警戒区域（レッドゾーン）と指定。中には、市有地10か所・市有民有混在地が15か所あり、長尾台小学校や中山台コミュニティセンターなど公共施設も含まれています。対策として早急な対応検討が求められました。

・教職員負担軽減：国の「働き方改革」でも教職員の負担が大きく取り上げられていますが、その対策として部活動外部指導者の活用は重要で、現在57人を配置しており、新年度は5人増員の予定。外部指導者は土日の指導ができず、今後、適切な対応を求めます。

■宝塚市立病院 H30年度予算案

立案されている「改革プラン」では、7800万円の赤字となるはずであったのに、3億円を超える赤字予算です。その大きな原因は「医師の大量退職」。13人いた消化器内科の医師が、昨年末に一気に10人減り、その後、研修医4人が正科医師となり7人という現体制ですが、5人もの減員は、医療収益に大きく影響します。

これまでも医師確保は大きな課題でありましたが、当病院では質の良い医師の確保策として、一般的な広台等ではなく関連医大の医局から派遣してもらっています。医師の異動は年間30~40人あり、そのほとんどが大学医局人事であることから、こちらの要望に対して迅速な対応はなかなか叶わず。

医師確保に関しては、当病院自身がコントロールするのは大変困難な状態であることはわかりましたが、今後は子育て中の医師の短時間勤務など、多様な雇用形態を当院独自策として示しながら、関連大との連携を強化し、改革プランの計画に沿った経営となるよう努めていくことが重要で、委員会では、随時契約や見直しなど自ら管理できる経費を厳しく見直しつつ、公立病院としての役割を堅持することなどを「付帯意見」として付し、赤字解消を求めています。

■水道庁舎の安全性は  
 先送りされる？  
 今回、新年度に工事開始を予定していた「ひろは整備事業（ITN跡地利用）」について、市は文化芸術施設と整備時期が異なるため、負担を平等にしようという計画を3年遅らせる方針を示しました。

しかし「ひろは事業」は、耐震性に欠ける水道庁舎を移転させる目的があるため、議会では「水道職員や来庁する市民の命をどう守るのか」といった反対意見が相次ぎました。市は「水道庁舎部分だけでも移転できる」と、検討することし、水道事業の補正予算をベースに新年度に対応する見込みです。

・新ごみ処理施設：H36の稼働に向け、現在整備基本計画を策定しようとしているところ。施設建設費金はH29年度末で11億5千万円余であり、まだ不足。今後見積り上げが必要で。

・観光花火大会：マンシヨン建設などで、地域住民の安全性確保が難しくなったことにより休止しており、資金面等で課題があり、H30年度予算に事業費は算入していません。引き続き、安全面・資金面で検討を求めます。

■2018年度当初予算案  
 〇一般会計 787億5000万円  
 賛成多数可決  
 社会保険費が大きく膨らんでいるのに加え（前年比1.8%増）市債の借り換えが約14億あることから、過去最大の予算編成となりました。

- 〈主な新増・拡充事業〉
- ・文化芸術施設（カーテンフールズ跡地利用） 12億6000万円
- ・私立保育園誘致事業 4億6000万円
- ・手塚治虫記念館リニューアール事業 2億2500万円
- ・中央公民館整備事業（2期工事費） 3億5600万円
- ・長尾中学校屋内運動場（体育館）改修事業 7億7800万円
- ・すみれ墓苑管理事業（合葬式墓所の貸し出し） 3386万円
- ・小学校の英語教育 1246万円
- ・エイジフレンドリーシティ推進事業 691万円

■H29年度 全事業見直しについて

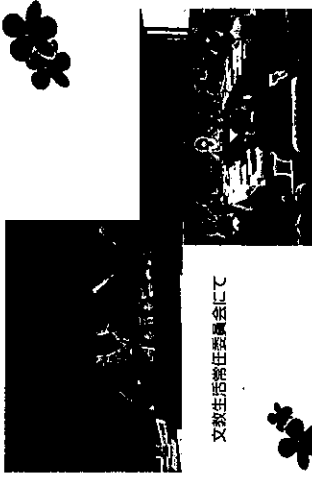
市は、新たな公共施設の整備や社会保険関連費の急増等により大変厳しい財政状況であり、今後それが増大すると見込んでいることから「第2次宝塚市市政改革運営アクションプラン」に取り組んでおり、それを達成してもなおH29年度からH33年度までの5年間に33.1億円の財源不足を見込んでいます。これを解消する為、H29年度には、市が行っている全事務事業（550事業）を様々な観点から点検し、廃止・一部廃止・縮小・改善・コスト削減など検討しました。

見直し状況は、以下の通りです。

- 廃止 : 9
  - 一部廃止や縮小 : 18
  - 縮小 : 1
  - 事務改善 : 25
  - 計 : 53事業
- 他に、コスト削減など96事業 合計149事業  
 約1億9000万円の経費を削減することができ、この費用は効果としてH30予算に反映しています。努力による成果ですが、今後は市民サービスの低下に繋がることが無いよう、注視する必要があります。

■図書館管理運営事業について

「図書館サービス向上の検討」も、事業見直しの検討課題。「開館時間の延長などサービス向上に努めるとともに、指定管理者制度の研究を深める」とのこと。近隣市でも指定管理者を導入する自治体が増えてきています。予算ベースで3億を超える大きな事業であるにもかかわらず、市内登録者が3割未満の今の状態はもったいない。一般質問でも提案しましたが、サービス向上に加え「出会いの場」「繋がる場」としてまちづくりの拠点機能という付加価値を加える視点をもち、しっかり研究してもらいたいと思います。



文教生活常任委員会にて

■宝塚北サービスエリアオープン  
 新名神高速道路、川西IC、神戸JCT間に、新たな「宝塚北サービスエリア」ができました。ヨーロッパ風の「宝塚マダン」を基調とし、広さは西日本最大級です。フードコートやレストラン、ベビーカーなど、整備され、中でもトイレには男性用では長距離移動時に助かる洗髪用シャワー、女性用では美しいパウダールームにシャンデリアなど優雅な気分が味わえます。歌謡や手塚治虫関連グッズのほか、西谷の特産品もあり、宝塚を広くPRすることに繋がるよう願っています。高速を利用しない方も一般道からサービスエリアを利用できます。ぜひ足を運んでください。

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	2
支 出 日	平成30年4月10日		支出金額	56,592 円	
支 出 先	(株) インプレス				
支 出 内 容	市議会通信第27号 (支出書No1) ポスティング料 10,000枚 振込手数料¥432含む				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可      ポイント      無      円減額

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。  
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額      ¥56,160  
振込手数料      ¥432

お受取人は  
アワシ`シンキン  
シンナカ`タ  
普通 #53166  
カ)インプレス 様

お振込人は  
タカラヅ`サツキ`カイ アカタニアキ 様

お取扱日 30. 4. 10 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻	印紙税申告納 付につき廻町 税務署承認済
767	2330	4.10	12:28	
			4159	
銀行番号	店番号	口座番号等		
0009	0378	*****		

三井住友銀行



行政市区	エリアNO	主な町名	配布日	ローラー
				10,000
宝塚市	21	湯本町・武庫山1～2	4月16日	1,280
	22	紅葉が丘・長寿が丘・月見山1～2	4月16日	900
	23	川面5・栄町1～3	4月16日	1,900
	24	川面6・御殿山3・桜ヶ丘	4月16日	1,000
	26	川面3～4・御殿山1～2	4月16日	1,000
	27	川面1～2清荒神1・3～5・官の町	4月16日	950
	28	旭町3・小浜2～3・美座1～2・武庫山町	4月16日	320
	29	旭町1～2・鶴の荘・向月町・米谷2	4月16日	1,600
	31	売布3・売布が丘・売布きよしが丘・売布山手町・清荒神2	4月16日	1,050
備考	No.28 調整エリア(旭町3丁目のみ配布)			

■ 活動報告 (議会活動以外も含む)

- 1/4 初出席 商工会議所新年互礼会 出席
- 7 消防出初式 出席
- 8 成人式典 出席
- 9 文教生活常任委員会所管事務調査
- 11-12 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「防災と議員の役割」
- 15 広報広聴委員会
- 16 すみれが丘小学校オープンスクール 来校
- 17 市総合防災訓練 議会運営委員会
- 18-19 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に」
- 20 おしゃべりサロン開催
- 23 認知症サポーター連続講座 1 出席
- 24-26 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」
- 30 認知症サポーター連続講座 2 出席
- 2/1 広報広聴委員会
- 5 校区人権啓発推進委員会講演会 参加
- 池田自治会 福祉食事会 出席
- 6 認知症サポーター連続講座 3 出席



タカラツカ☆未来コンGRESS

■ 「タカラツカ☆未来コンGRESS」開催

宝塚市議会では「開かれた議会」を目指して議会基本条例を制定し、多くの市民に議会に関心を持ってもらえるよう「広報広聴委員会」を設けています。今年度からその委員を務めており、議会報がけし、議会HP、議会報告会、意見交換会など活動は広範囲ですが、今般、「若者の意見を取り入れよう」と、市内にある甲子園大学にご協力いただき「タカラツカ☆未来コンGRESS (代表者会)」を開催。意見交換会としては7度目ですが、大学との連携は初めてです。大学側から示されたテーマ毎に議員も別れ、チームを編成し議論しました。

- ・Aグループ：学生生活と宝塚市の地域
  - ・Bグループ：管理栄養士が宝塚市にかかわること
  - ・Cグループ：地域の農業と食品
  - ・Dグループ：市のメンタルヘルス行政
- 頂いたご意見の中には「宝塚市と大学のコラボで農作物の加工品を作った」「大学で行っている発達障がい児の相談に応募者が殺到。別り場も設ける必要がある」「市内に若者が立ち寄る場をもっと充実してほしい」などあり、今後検討していきたいと思っております。
- この取り組みは大変意義あるものでした。今後とも大学との連携を求め、若者や研究者の意見を政策提案に繋げられる体制を整えていきいと思っております。

ブログ

<http://akiasatani.exblog.jp>

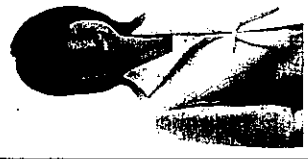
「あさだに 亜紀」で検索

facebook

浅谷 亜紀

議会活動を中心に「野を歩」しています。お返事は、お待ちしております。

- 7 文教生活常任委員会 事務調査
- 14 議会本会議 広報広聴委員会
- 15 放課後教室すみれひろネットワーキング会 出席
- 16 コミュニティすみれひろネットワーク会 出席
- 18 エステイオ1番館 おもちつき 参加
- 23・26・27 議会本会議・代表質問、議員総会
- 28 文教生活常任委員会
- 3/2 コミュニティすみれ幹事会 出席
- 3 放課後教室すみれひろ遊具に関する意見交換会 出席
- 4 すみれが丘東公園遊具に関する意見交換会 出席
- 5 文教生活常任委員会
- 8・12・13・14・16 予算特別委員会
- 9 市立中学校卒業式出席
- 自治体評価研究報告、交流会 (京都府立大) 出席
- 10 おしゃべりサロン開催
- 11 タカラツカ☆未来コンGRESS  
(甲子園大学生と議員との意見交換会)
- 15 議会研修 (新名神高速道路宝塚北サービスエリア) 見学
- 19 健康診断受診 (宝塚市立健康センター)
- 22 市立小学校卒業式出席
- 23 常任委員協議会
- 24 市立病院がんセンターオープン記念講演・内覧会出席
- 26 議会運営委員会
- 27 議会本会議 裁決
- 30 地方議会総合研究所「質問力・議会力研修」参加



■ 第27号

ひとりひとりが輝くまちに

2017年度 春のたより

市議会通信

■ 宝塚市議会議員 無所属 新風改革の会

あさだに 亜紀

〒565-0854 宝塚市中央区3-5-1-509 ■ 議員控え室：77-9109 局番：81-1825 ■ ak.asatani@taka.ak.jp

■ 宝塚市立病院「がんセンター」オープン

宝塚市立病院に「がんセンター」を開設しました。

「がんセンター」の理念は「標準的ながん治療とがん支援を地域完結型で市民のために」データに基づいた医療で外科・化学療法・放射線治療を提供し、患者さんとご家族を医師や看護師、薬剤師など多職種チームで快適な環境のもと安全で確実な治療を支援し、がん診療支援センターでは専門スタッフが費用など側面的なカウンセリングや情報提供も行って参ります。

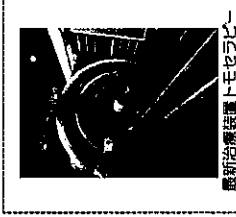
設置された高精度放射線治療装置「トモセラピー」は関西以南で初の導入で、性能が高く素晴らしい機器です。センター整備には、建物も加えると約11億円という費用が必要であったため、市内の民間病院ではなかなか不可能でしたが、今後の医療を考えれば必要性が大変高いことから、公設病院として整備に踏み切りました。

生涯でガンと診断される確率は、男性では62%・女性では46%であり「2人に1人」と言えます。

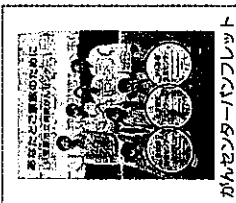
放射線治療は、ある一定の期間ほぼ毎日治療が必要であることから、遠方の病院に通うことで患者の負担は大変大きくなります。そういった意味からも、市民に寄り添う添う公立病院として、近くで安心して治療を受けて頂ける整備が望まれました。

「わたしたちは、あなたとご家族が夢みてきた人生、これからの生活に望む事を教えていただき、最適と思える治療方法を提案したり、治療しながら生活をしていただくための知恵や情報の整理をお手伝いする専門スタッフからなるがんセンターを作りしました。」

「がんは日進月歩、最新医学の情報を揃えることができる人材がここにはいます。どこで治療を受けても構いません。不安を抱えながら遠くに出向く前に、まずは傍らにいられたらと話をしてみませんか」  
(がんセンター・バンプレットより)



最新治療装置 トモセラピー



がんセンターバンプレット



宝塚市立病院

■ 宝塚市立病院 H30年度予算案 可決

収入総額 114億7866万4千円  
支出総額 118億522万6千円  
収支差引 3億2686万2千円

市民の皆様へ、しっかりと

寄り添えますように。

内面に続く

■文化芸術施設 工事議案  
 整備が進んでいる文化芸術施設事業（カーテンフールズ跡地）について、工事請負契約に関する議案（16億8156万円）が出され、議会で賛成多数可決されました。

私は事業開始当初、「今後の高齢化社会では生活を守ることに多くの予算を要する。計画にない土地を目的もなく購入し、新たなハコモノを整備し管理するよるな財政的余裕はない」と反対しましたが、議会で反対少数で止められなかったため、その後、当事業は市民を巻き込みながら基本計画・設計と進んでいます。この事業は国の交付金（約40%）を得て進めており、計画には「5年間」という期限があります。

ここまできて計画を止めたり遅らせたりすれば、逆に交付金の一括返済（約12億6千万円）や工期の短縮など大きなリスクを負う可能性が高くなり、多くの市民に協力を願って進めてきていることから、立ち止まる時期はとうに過ぎていると考えます。

ただ、期限付きの事業に対する市の計画管理の甘さは、指摘しなければいけないところで、

市は、当事業の重要性を大変高く設定。必ず市民が誇れる魅力ある文化芸術施設とするため、議会もよりよい案を提示しながら全力で共に進めるべきだと考え、議案に賛成しました。

■代表質問・予算時議員会の質疑答弁より  
 ・保育所待機児童対策：市は、待機児童対策として3031年度の2ヶ年計画で2園の私立保育園を誘致し、240名の定員を確保する計画です。今後母子育児支援や男女共同参画の視点から、整備を進めてもらうよう注視して参ります。

・手塚治虫記念館リニューアル事業：H6年のオープン以来、初の大幅な内装リニューアルを行います。展示、英語表記、ランドプロア入り口の他、デジタル技術を駆使した展示物など手塚プロと協議中。

・特別警戒区域レッドゾーン指定：県が長尾山系の調査をし、武庫川左岸地区の53箇所に対して特別警戒区域（レッドゾーン）と指定。中には、市有地10か所・市有民有混在地在が15か所あり、長尾台小学校や中山台コミュニティセンターなど公共施設も含まれています。対策として早急な対応検討が求められています。

・教職員の負担軽減：国の「働き方改革」でも教職員の負担が大きく取り上げられています。その対策として部活動外部指導者の活用は重要ですが、現在57人を配置しており、新年度は5人増員の予定。外部指導者は土日の指導はできず、今後、適切な対応を求めます。

■水道庁舎の安全性は先送りされる？  
 今回、新年度に工事開始を予定していた「ひろは」整備事業（NTN跡地利用）について、市は文化芸術施設と整備時期が異なるため、負担を平準化しようとする方針を打ちました。しかし、「ひろは」事業は、耐震性に欠ける水道庁舎を移転させる目的があるため、議会では「水道職員や来庁する市民の命をどう守るのか」といった区別意識が相次ぎました。市は「水道庁舎部分だけでも移転できる」という見直しを検討するとし、水道事業の補正予算をベースに新年度に対応する見込みです。

・新ごみ処理施設：H36の稼働に向け、現在整備基本計画を策定しようとしているところ。施設建設基金はH29年度末で11億5千万円余であり、まだ不足。今後増額が必要。○

・観光花火大会：マンシヨン建設などで、地域住民の安全性確保が難しくなったことにより休止してありますが、新たな打ち上げ候補地では増大する警備費など資金面等で課題があり、H30年度予算に事業費は算入していません。○

■2018年度当初予算案  
 ○一般会計787億5000万円  
 社会保険費が大きく膨らんでいるのに加え（前年比1.8%増）市債の借換えが約14億あることから、過去最大の予算編成となりました。

- 〈主な新規・拡充事業〉
- ・文化芸術施設（カーテンフールズ跡地利活用）12億6000万円
- ・私立保育園誘致事業4億6000万円
- ・手塚治虫記念館リニューアル事業2億2500万円
- ・中央公民館整備事業（2期工事費）3億5600万円
- ・長尾中学校屋内運動場（体育館）改修事業7億7800万円
- ・すみれ墓苑管理事業（台葬式墓所の貸し出し）3386万円
- ・小学校の英語教育1246万円
- ・エイジフレンドリーシティ推進事業691万円

■宝塚市立病院H30年度予算案

全員一致可決  
 立案されている「改革プラン」では、7800万円の赤字となるはずであったのに、3億円を超える赤字予算です。その大きな原因は「医師の大規模退職」。13人いた消化器内科の医師が、昨年末に一気に10人減り、その後、研修医4人が正科医師となり7人という弱体化ですが、5人もの減員は、医療収益に大きく影響します。

これまでから医師確保は大きな課題でありましたが、当病院では質の良い医師の確保策として、一般的な広告等ではなく関連医大の医局から派遣してもらっています。医師の異動は年間30~40人あり、そのほとんどが大学医局人事であることから、こちらの要望に対して迅速な対応はなかなか叶わず。

医師確保に関しては、当病院自身がコントロールするのは大変困難な状態であることはわかりましたが、今後は子育て中の医師の短時間勤務など、多様な雇用形態を当院独自策として示しながら、関連大との連携を強化し、改革プランの計画に沿った経営となるよう努めていくことが重要です。委員会では、随時契約や見直しなど自ら管理できる経費を徹しく見直しつつ、公立病院としての役割を堅持することなどを「内帯意見」として付け、赤字解消を求めています。

■H29年度 全事業見直しについて

市は、新たな公共施設の整備や社会保険関連費の急増等により、大変厳しい財政状況であり、今後それが増大すると見込んでいるところから「第2次宝塚市行政改革運営アクションプラン」に取り組んでおりましたが、それを達成してもなおH29年度からH33年度までの5年間に33.1億円の財源不足を見込んでいます。○それを解消する為、H29年度には、市が行っている全事務事業（550事業）を様々な観点から点検し、廃止・一部廃止・縮小・改善・コスト削減など検討しました。

「事務改善」の事業の中には、民間事業者などから知恵とアイデアの提案を募る「提案型業務委託制度」の実施が懸念されており、以前から提案しておりました事業が形とならなくなってしまっています。ぜひ進めていただき、市にとってメリットがあるだけでなく、市内事業者やNPO・地域団体にとって雇用機会の創出につなげてほしいと思います。

見直し状況は、以下の通りです。

廃止	： 9
一部廃止や縮小	： 18
統合改善	： 1
事務改善	： 25
計	53事業

他に、コスト削減など96事業 合計149事業 約1億9000万円の経費を削減することができ、この費用は効果としてH30予算に反映しています。努力による成果ですが、今後は市民サービスの低下に繋がることなく、注視する必要があります。

■図書館管理運営事業について

「図書館サービス向上の検討」も、事業見直しの検討課題。「開館時間の延長などサービス向上に努めるとともに、指定管理者制度の研究を深める」とのこと。近隣市でも指定管理者を導入する自治体が増えてきています。予算ベースで3億を超える大きな事業であるにもかかわらず、市内登録者が3割未満の今の状態はもったいない。一般質問でも提案しましたが、サービス向上に加え「出会いの場」「繋がる場」としてまちづくりの拠点機能という付加価値を加える視点をもち、しっかりと研究してもらいたいと思います。



文藝生活常任委員会にて

■宝塚市アート・ビストロオープニング  
 新名神高速道路、川西〜神戸JCT間に、新たな「宝塚北サトウエリ」ができました。ヨーロピアン風の「宝塚モダン」を基調とし、広さは西日本最大級です。フードコートやカフェショップ、ペヒールームなど設備が整い、中でも「トイ」には男性用では長距離移動時に助かる専用シャワー、女性用では美しいハワートルームにシャンデリアなど優雅な気分が味わえます。音楽や手塚治虫関連グッズのほか、西谷の特産品もあり、宝塚を広くPRすることに繋がるよう願っています。R速速を利用しない方も一般道からサトウエリを利用できます。ぜひ足を運んでください。

別紙様式1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	3
支 出 日	平成30年4月13日		支出金額	24,418 円	
支 出 先	宝塚郵便局				
支出内容	市議会通信第27号(支出書No1) 郵送料 区内特別基(定)@72×338通 第1種定形@82×1通(西谷郵送分)				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可		ポイント	無	円減額	



# 領収書

毎度ありがとうございます

浅谷 聖紀 様

[別納引受]		
区内特別基 (定)	16.0g	
@72	338通	¥24,336
小計		¥24,336
第一種定形	16.0g	
@82	1通	¥82
小計		¥82
郵便物引受合計通数	339通	
課税計		¥24,418
(内消費税等)		¥1,808
非課税計		¥0
合計		¥24,418
お預り金額		¥30,020
おつり		¥5,602

印紙税申告納

付につき廻町

税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時: 2018年 4月13日 16:57  
担当: 今西 真理子  
発行No. 180413A5160 端N63箱01  
連絡先: 宝塚郵便局  
TEL: 0797-85-0003

- 1/4 初式 商工会議所新年互礼会 出席
- 7 消防出初式 出席
- 8 成人式式典 出席
- 9 文教生活常任委員会所管事務調査
- 11-12 全国市町村国際文化研究所研修 参加
- 「防災と議員の役割」
- 15 広報広聴委員会
- 16 すみれが丘小学校オープンスクール 来校
- 17 市総合防災訓練 議会運営委員会
- 18-19 全国市町村国際文化研究所研修 参加
- 「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に」
- 20 おしゅパビリオン開催
- 23 認知症サポーター連続講座1 出席
- 24-26 全国市町村国際文化研究所研修 参加
- 「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」
- 30 認知症サポーター連続講座2 出席
- 2/1 広報広聴委員会
- 5 校区人権啓発推進委員会講演会 参加
- 池田自治会 福祉食事会 出席
- 6 認知症サポーター連続講座3 出席



タカラツカ☆未来コンGRESS

### ■「タカラツカ☆未来コンGRESS」開催

宝塚市議会では「開かれた議会」を目指して議会基本条例を制定し、多くの市民に議会に関心を持ってもらえるよう「広報広聴委員会」を設置しています。今年度からその委員を務めており、議会報がけしり議会HP、議会報告会、意見交換会など活動は広範囲ですが、今般、「若者の意見を取り入れよう」と、市内にある甲子園大学にご協力いただき「タカラツカ☆未来コンGRESS (代表者会)」を開催。意見交換会としては7度目ですが、大学との連携は初めてです。大学側から示されたテーマ毎に議員も別れ、チームを編成し議論しました。

- ・Aグループ：市生活と宝塚市の地域
- ・Bグループ：管理栄養士が宝塚市にかかわること
- ・Cグループ：地域の産業と食品
- ・Dグループ：市のメンタルヘルス行政

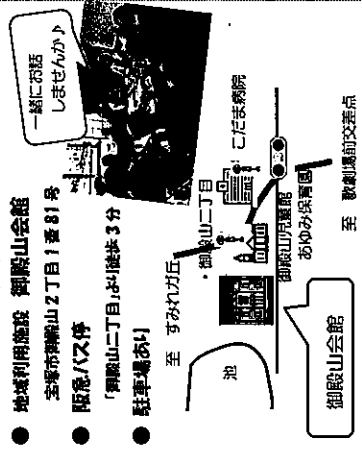
頂いたご意見の中には「宝塚市と大学のコラボで農作物の加工品をFって」「大学で行っている発達障がい児の相談に応募者が殺到。別う場も設ける必要がある」「市内に若者が立ち寄る場をもっと充実してほしい」などあり、今後検討していきたいと想います。

この取り組みは大変意義あるものでした。今後とも大学との連携を強め、若者や研究者の意見を政策提案に繋げられる体制を整えていきいと思ひます。

### ■おしゅパビリオン開催します！

議員として、諸課題の判断の元となるのは市民のみなさまの「声」です。どうぞお気軽にお立ち寄りください！

● 5月19日(土) 午後1時～5時



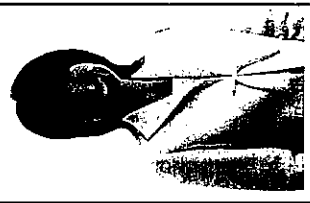
- 地域利用施設 御殿山会館
- 宝塚市御殿山2丁目1番81号
- 緊急バス停
- 「御殿山2丁目」バス停徒歩3分
- 駐車場あり
- 至 すみれが丘
- 御殿山2丁目
- 御殿山児童館
- あゆみ保育園
- 至 御殿山駅前交差点

ブログ <http://akiasatani.exblog.jp> 「あさだに 亜紀」で検索

facebook

淡谷 亜紀

議会活動や市情に詳しくお話しします。お友達も、おもしろいです。



■ 第27号

〒664-0825 宝塚市御殿山3-5-1-509 ■ 電話 079-9109 白毛 ■ fax 079-91825 ■ ak-asatani@akiazavis.jp

## ひとりとりが輝くまちに

■ 2017年度 春のたより

# 市議会通信

# あさだに 亜紀

### ■ 宝塚市立病院「がんセンター」オープン

宝塚市立病院に「がんセンター」を開設しました。

「がんセンター」の理念は「標準的ながん治療とがん支援を地域完結型で市民のために」データに基づいた医療で外科・化学療法・放射線治療を提供し、患者さんとご家族を医師や看護師、薬剤師など多職種チームで快適な環境のもと安全で確実な治療を支援し、がん診療支援センターでは専門スタッフが費用など側面的なカウンセリングや情報提供も行なっております。

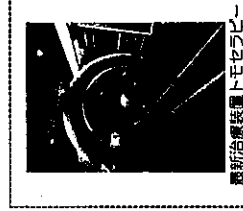
設置された高精度放射線治療装置「トモセラピー」は関西以南で初の導入で、性能が高く素晴らしい機器です。センター整備には、建物も加えると約11億円という費用が必要であったため、市内の民間病院ではなかなか不可能でしたが、今後の医療を考えたらならば必要性が非常に高いことから、公設病院として整備に踏み切りました。

生涯でガンと診断される確率は、男性では62%・女性では46%であり「2人に1人」と言えます。放射線治療は、ある一定の期間ほぼ毎日治療が必要であることから、遠方の病院に通うことで患者の負担は大変大きくなります。そういった意味からも、市民に寄り添う公立病院として、近くで安心して治療を受けて頂ける整備が望まれました。

「わたしたちは、あなたとご家族が歩んできた人生、これからの生活に望む事を教えていただいたき、最速と思える治療方法を提案したり、治療しながら生活せよとなむ知恵や情報整理をお手伝いする専門スタッフからなるがんセンターを作りしました。」

「がんは日進月歩、最新医学の情報を揃えることができる人材がここにはいます。どこで治療を受けても構いません。不安を抱えながら遠くに出向く前に、まずは傍らにいられたらとお話してみませんか」

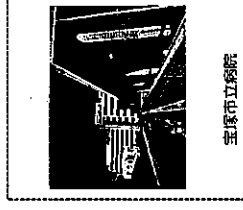
(がんセンター・バンプレットより)



最新治療装置トモセラピー



がんセンターバンプレット



宝塚市立病院

### ■ 宝塚市立病院 H30年度予算案 可決

収入総額	114億7866万4千円
支出総額	118億522万6千円
収支差引	3億2656万2千円

の赤字予算・・・

内面に続く

■文化芸術施設 工事議案  
 整備が進んでいる文化芸術施設事業（ガーテンフールズ跡地）について、工事費負担額に関する議案（16億8156万円）が出され、議決では賛否が大きく分かれました。

私は事業開始当初、「今後の高齢化社会では生活を守ることに多くの予算を要する。計画にない土地を目的もなく購入し、新たなハコモノを整備し管理するような財政的余裕はない」と反対しましたが、議決では反対少数で止められなかったため、その後、当事業は市民を巻き込みながら基本計画・設計と進んでいます。

この事業は国の交付金（約40%）を得て進めており、計画には「5年間」という期限があります。ここまでできて計画を止めたり遅らせたりすれば、逆に交付金の一括返済（約12億6千万円）や工期の短縮など大きなリスクを負う可能性が高くなり、多くの市民に協力を願って進めてきていることから、立ち止まる時期はとうに過ぎていくと考えます。

また、期限付きの事業に対する市の計画管理の甘さは、指摘しなければいけないところでは、市は、当事業の重要性を大変高く設定。必ず市民が誇れる魅力ある文化芸術施設とするため、議会もよりよい案を提示しながら全力で共に進めるべきだと考え、議案に賛成しました。

■代表質問・予算案  
 ・保育所待機児童対策：市は、待機児童対策として30.31年度の2ヶ年計画で2園の私立保育所を誘致し、240名の定員を確保する計画です。今後も子育て支援や男女共同参画の視点から、整備を進めてもらうよう注視して参ります。

・手塚治虫記念館リニューアル事業：H6年のオープン以来、初の大幅なリニューアルを行います。展示、英語表記、グラフィックアート・出入り口の他、デジタル技術を駆使した展示物など手塚プロと協議中。

・特別警戒区域レッドゾーン指定：県が長尾山系の調査をし、武庫川左岸地区の53箇所に対して特別警戒区域（レッドゾーン）と指定。中には、市有地10か所・市有民有混在地在が15か所あり、長尾台小学校や中山台コミュニティセンターなど公施設も含まれています。対策として早急な対応検討が求められています。

・教職員の負担軽減：国の「働き方改革」でも教員の負担が大きく取り上げられています。その対策として部活動外部指導者の活用は重要です。現在57人を配置しており、新年度は5人増員の予定。外部指導者は土日の指導はできず、今後、適切な対応を求めます。

■宝塚市立病院H30年度予算案

全員一致可決  
 立案されている「改革プラン」では、7800万円の赤字となるはずであったのに、3億円を超える赤字予算です。その大きな原因は「医師の大量退職」。

13人いた消化器内科の医師が、昨年末に一気に10人減り、その後、研修医4人が正規医師となり7人という現状ですが、5人もの減員は、医療収益に大きく影響します。

これまでも医師確保は大きな課題でありましたが、当病院では質の良い医師の確保策として、一般的に広告等ではなく関連医大の医局から派遣してもらっています。医師の異動は年間30~40人あり、そのほとんどが大学医局人事であることから、こちらの要望に対して迅速な対応はなかなか叶いません。

医師確保に関しては、当病院自身がコントロールするのは大変困難な状態であることはわかりましたが、今後は子育て中の医師の短時間勤務など、多様な雇用形態を当院独自策として示しながら、関連大との連携を強化し、改革プランの計画に沿った経営となるよう努めていくことが重要で、委員会では、随時契約や見直しなど自ら管理できる経費を見直しをしつつ、公立病院としての役割を堅持することなどを「付帯意見」として付し、赤字解消を求めています。

■水道庁舎の安全性は  
 先送りされる!?  
 今回、新年度に工事開始を予定していた「ひろは整備事業（H1N跡地利活用）」について、市は文化芸術施設整備時期が重なるため、負担を平準しようと計画を3年遅らせる方針を示しました。

しかし、「ひろは事業」は、耐震性に欠ける水道庁舎を移転させる目的があるため、議会では「水道職員や来庁する市民の命をどう守るのか」といった反対意見が相次ぎました。市は「水道庁舎各部分だけでも移転できるように検討することし、水道事業の補正予算をへんに新年度に対応する見込みです。

・新こみ処理施設：H36の稼働に向け、現在整備基本計画を策定しようとしているところです。施設建設基金はH29年度末で11億5千万円余であり、まだ不足。今後も積み上げが必要です。

・観光花火大会：マンシヨン建設などで、地域住民の安全性確保が難しくなったことにより休止しておりますが、新たな打ち上げ候補地では増大する整備費など資金面等で課題があり、H30年度予算に事業費は挙がっていません。

■2018年度当初予算案  
 賛成多数可決  
 ○一般会計787億5000万円  
 社会保険費が大きく膨らんでいるのに加え（前年比1.8%増）市債の借り換えが約14億あることから、過去最大の予算編成となりました。

- 〈主な新規・拡充事業〉
- ・文化芸術施設（ガーテンフールズ跡地利活用） 12億6000万円
- ・私立保育園誘致事業 4億6000万円
- ・手塚治虫記念館リニューアル事業 2億2500万円
- ・中央公民館整備事業（2期工事費） 3億5600万円
- ・長尾中学校屋内運動場（体育館）改修事業 7億7800万円
- ・すみれ墓苑管理事業（合葬式墓所の貸し出し） 3386万円
- ・小学校の英語教育 1246万円
- ・エイジフレンドリーシティ推進事業 691万円

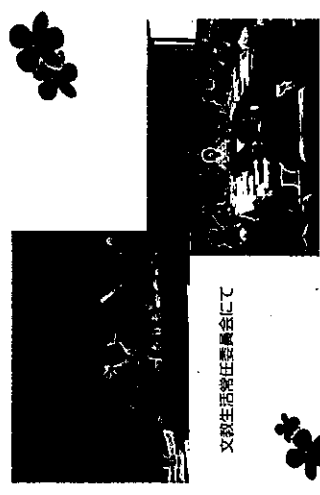
見直し状況は、以下の通りです。

廃止	： 9
一部廃止や縮小	： 18
新設合	： 1
増減	： 25
計	53事業

他に、コスト削減など96事業 合計149事業  
 約1億9000万円の経費を削減することができ、この費用は効果としてH30予算に反映しています。努力による成果ですが、今後は市民サービスの低下に繋がるようなことが無いよう、注視する必要があります。

■図書館管理運営事業について

「図書館サービス向上の検討」も、事業見直しの検討課題に。「開館時間の延長などサービス向上に努めるとともに、指定管理者制度の研究を深める」とのこと。近隣市でも指定管理者を導入する自治体が増えてきています。予算ベースで3億を超える大きな事業であるにもかかわらず、市内登録者が3割未満の今の状態はもったいない。一般質問でも提案しましたが、サービス向上に加え「出会いの場」「繋がる場」としてまちづくりの拠点機能という付加価値を加える視点をもち、しっかりと研究してもらいたいと思います。



文教生活常任委員会にて

■宝塚北サトービスエリアオープン  
 新名神高速道路・川田IC（神戸JCT間）、新たな「宝塚北サトービスエリア」ができました。ヨーロッパ風の「宝塚モダン」を基調とし、広さは西日本最大級です。フードコートやお土産ショップ、ベビールームなど設備は、中でも「トイレ」には男性用では男性用移動時に助かる洗濯用シャワー、女性用では美しいパウダールームにシャワートイレなど優雅な気分が味わえます。音楽や手塚治虫関連グッズのほか、西谷の特産品もあり、宝塚を広くPRすることに繋がるよう願っています。高速を利用しない方も一般道からサトービスエリアをご利用できます。ぜひ足を運んでください。

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	書籍・新聞等購入代	支出番号	4
支 出 日	平成30年4月14日		支出金額	1,620 円	
支 出 先	紀伊国屋書店				
支出内容	デビットアトキンソン「新・生産性立国論」				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

紀伊國屋書店

領 収 証

梅田本店  
TEL 06-6372-5821

【営業時間のご案内】 10:00~22:00  
Kinokuniya Point Card 会員募集中!  
年会費・入会費 無料!!  
送料無料の店舗受取サービスもこちらから  
<https://www.kinokuniya.co.jp>

2018年04月14日(土) 14時30分 #3456

9784492396407 C3033 Y1500  
デビット・アトキンソン 1冊 ¥1,500

1点 小計 ¥1,500  
外税対象額 ¥1,500

**合計** ¥1,620

(含む消費税等 8% ¥120)

現金 ¥2,020

お釣り ¥400

店:0038 ｼﾞ:0053

29446 浦松



01003800531804143456

## 別紙様式1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

## 政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	5
支 出 日	平成30年4月17日		支出金額	9,700 円	
支 出 先	西日本旅客鉄道 (株)				
支出内容	宝塚⇄敦賀@4,850×2				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議長	副議長	局長	次長	課長	副課長	係長	係	合
覧									議

別紙様式3-2 (議員用)

出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先 (研究・研修会会場)

2 期間 平成 30年4月17日 ~ 平成 年 月 日

3 出張者氏名 (議員名)

浅谷亜紀

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

地方議員特別セミナー in 敦賀  
政策立案力、条例の作り方と先進事例

5 旅費

①鉄道賃等

月日	交通機関	経路	金額	領収書の有無※	備考
4.17	電車運賃	宝塚~敦賀	4,850円	有・無	
	電車運賃	敦賀~宝塚	4,850円	有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
合計			9,700円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金額	計	円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ 5,000 × 1 人 = 5,000 円

【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。  
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



領 収 書

浅谷 亜紀 様

Receipt  
領収年月日 2018.-4.17  
金額 ¥9,700 (消費税等込み)

(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets  
(00259 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅

宝塚駅F1発行

10260-01

納税申告  
大滞  
承認済  
付につき承  
税務署

平成30年4月17日

領 収 書

浅谷 亜紀 様

以下のとおり領収しました。

¥ 5,000 円

但し、「第13回 地方議員特別セミナー」参加費として

地方自治  
会長



子

# 第13回 地方議員特別セミナーin敦賀

政策立案力！条例の作り方と先進事例特集！

2018年4月17日(火) 13:30~17:00

場 所：敦賀駅オルパーク2階【敦賀駅直結】 福井県敦賀市鉄輪町1丁目1-19

参加費：5,000円 終了後講師との意見交換会あり（別途6,000円）

今こそ、政策立案力！（70分）

「手話言語条例の制定から学ぶ政策立案力！」

中瀬古初美・三重県議会議員



市役所が賑わいの拠点！（30分）

「新市役所を拠点とした賑わいの場所づくり事例」

清水隆弘・いなべ市議会議員



全国初！人と犬との防災訓練（30分）

「新しい防災訓練のあり方と取り組み事例」

成川正幸・黒部市議会議員



市民と一緒に予算審査する議会（30分）

「市民の声を市政に反映する新しい議会報告会の事例」

大野慎治・岩倉市議会議員



お問い合わせ・参加申込

主催：地方自治学習会 事務局 前川和治・敦賀市議会議員

TEL: 090-2120-4925

メール: jitigakusyu@yahoo.co.jp

申込方法：FAX（裏面に申込書あり）またはメール・お電話にてお申し込みください。



2018年4月17日（火）開催

# 第13回

# 地方議員特別セミナーin敦賀市 FAX申込書

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

お申込み方法（1） 下記フォームに記入の上、FAX送信してください。

**FAX No.0770-24-0100** 番号お間違えの無いようご注意ください

第13回 地方議員特別セミナーin敦賀市に参加します。

氏 名

所属議会

携帯番号

懇親会（○をつけてください）

・参加する

・参加しない

## 電話、メールでも申込みは可能です。

お申込み方法（2） メールで「地方自治学習会」に参加希望の旨送信ください。

アドレス [jitigakusyu@yahoo.co.jp](mailto:jitigakusyu@yahoo.co.jp)

お申込み方法（3） 090-2120-4925 地方自治学習会 事務局（前川）までお電話ください。

セミナー主催の「地方自治学習会」について  
地方自治学習会は、地方議会の活性化を目指す自治体  
議員有志で構成され、年齢、所属政党を問わないグル  
ープです。

これまで数十回のセミナーを開催しています。



# 第13回 地方議員特別セミナーin 敦賀市

～先進事例から学ぶ政策立案力と、条例の作り方、活かし方講座～

## 本日の次第

13:30～ 主催者挨拶

13:35～ 参加者のご紹介

13:40～14:50(70分)

中瀬古初美・三重県議会議員 「手話言語条例の制定から学ぶ政策立案力」

～休憩15分～

15:05～15:35(30分)

清水隆弘・いなべ市議会議員 「新市役所を拠点とした賑わいの場所づくり事例」

～休憩10分～

15:45～16:15(30分)

成川正幸・黒部市議会議員 「新しい防災訓練の取り組み事例」

～休憩～10分～

16:25～16:55(30分)

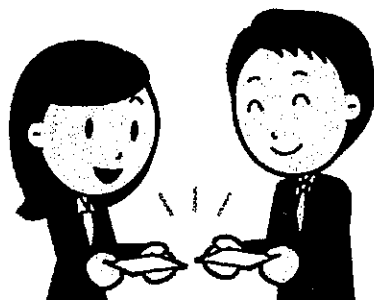
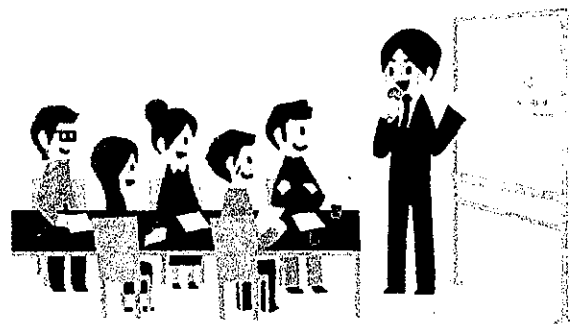
大野慎治・岩倉市議会議員 「市民の声を市政に反映する新しい議会報告会の事例」

16:55～おわりの挨拶

17時終了予定

### 参加者への連絡事項

- 携帯電話はマナーモードにしましょう。
- 発言は簡潔にわかりやすくしましょう。
- 休憩中は名刺交換などいかがでしょう。



### 懇親会の会場案内

食事処 建(たけし)

敦賀駅から徒歩2分

敦賀駅を背にして右側のアーケードを歩くと右手にお店があります。

宝塚→敦賀 2018年04月17日11:00到着

08:28発→10:33着 2時間5分(乗車1時間49分)



乗換: 2回 162.4km

IC優先: 4,850円 (乗車券3,020円 特別料金1,830円)

定期券 通勤: 1か月 131,340円 / 3か月 382,590円 / 6か月 729,880円

08:28	<b>発</b> 宝塚	乗車位置: 前/中/後[4両] 中/後[6両] 中/後[7両] 中/後[8両]
4駅	JR宝塚線快速・同志社前行 2・3番線発→7番線着	3,020円
08:48着 08:53発	○ 尼崎(東海道本線)	乗車位置: 前/中/後[7両]
2駅	JR神戸線・高槻行 5番線発→7番線着	
09:01着 09:12発	○ 大阪	
3駅	JR特急サンダーバード11号・金沢行 11番線発	自由席: 1,830円
10:33	<b>着</b> 敦賀	

□「手話言語条例の制定から学ぶ政策立案力」 三重県議会議員 中世古初美氏

事例1、三重県松阪市

2013年10月 市ろうあ福祉協会との意見交換会で手話言語条例制定を表明  
条例制定に向け動き出す。

- ・当事者団体から条例案の提示
  - 考え方を団体と市で協議
  - 団体の思い「全ての施策を盛り込みたい」 市はチェックも含め別の期間に委ねる
  - 31の施策について、市・議会・団体で協議
  - 条例に具体施策入れず、実現するための取り組みを入れることに
- ・条例の名称
  - ワーキングメンバーで3案に絞り、市民にアンケート
  - 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」決定
- ・条例に伴う取り組み
  - 設置通訳者1名増員（2人から3人へ）、手話推進マネージャー及び手話普及担当を配置、職員員向け手話講座の実施、市民向け出前講座の実施、講演会開催、市民講座開催 など
- ・手話施策推進会議
  - 条例に基づく施策推進のための関係者協議の場
  - 1～2か月ごとに開催
  - 当事者、通訳者も委員に

事例2、三重県

- ・代表者会議で手話言語条例制定を提案
  - 条例検討会の設置
  - 議会による県内現状調査、検討、県民意見募集
  - 執行部による県内現状説明、他県調査
  - 有識者の意見聴取
  - 当事者事例聴取
  - 県立ろうあ学校教育の状況調査
  - 手話通訳者の意見聴取
  - 条例案の検討作業 案を作成
  - パブコメ実施、意見検討
  - 最終案決定
  - 議案提出 全会一致で可決 条例成立

□市民と一緒に予算審議する議会

「市民の声を市政に反映」 岩倉市議会 大野 慎治氏

議会報告会の課題

- 1、行政が行うべき意見交換会と議会が行う報告会や意見交換会を市民が混同している
- 2、市民の二元代表制に対する理解が十分でなく、議会が信頼されていない
- 3、二元代表制に対する理解が十分でない議員がいる
- 4、裁決が終わった後、市民に「議案内容」「審査結果」「予算内容」を議会が報告のみする必要性は

市民の意見「決まったことを聞いても意味がない」という声あり。

→ 終わった後ではなく、審査前に市民の意見を聞くことの方が重要ではないか

→ 全員協議会等で議論 意見を「議会基本条例推進協議会」へ

→ 議会基本条例推進協議会にて、予算審査直前に開催すると決定

市民の声を予算審査に反映させる

執行部に対して議会報告会の「市民の声」を最大の武器にする

予算審査を活性化させる

日程 全員協議会

議案・予算説明 平成 30 年 2 月 14 日

議会報告会 30 年 2 月 24 日

3 月定例会開会 30 年 2 月 26 日

→ 市民への周知

掲示板 28 行政区 101 か所

回覧板 12 行政区 882 班

中日新聞県内版 2 月 10 日

MOVE-IT (中日新聞折込) 2 月 7 日

報告会 参加者

市民 32 名、 他市町議員 3 名

当日は、財務常任委員長より新規事業を中心に予算説明 (10 事業)

市民から意見聴取内容

前半の 1 時間までは、予算審議等に反映できる意見が多く目的は達成

後半の 1 時間は、市民からの要望事項ばかりになり、グダグタになってしまった

## 反省

実際、市民の意見を反映できたものは、数件のみ。

議会として審査までに時間がなく、質疑内容をまとめることができなかった。

質疑をほとんどしない議員も複数名存在した

実施計画の公表後に議会報告会を開催する（10月～11月頃）

3月定例会直前に議会報告会を開催（2月下旬）することで、市民の意見を反映させていく

ほか、「新市役所を拠点とした賑わいの場所づくり事例」

「新しい防災訓練の取り組み事例」 など。

議会報告会について、審査前に行うことは市民ニーズにもかなっておりより意見が活かしやすいと思う。しかし、わが市にとり入れるには議会基本条例の目的等から考えなおす必要があり、どちらかと言えば意見交換会での実現を目指すべきかもしれない。

ペットを連れた防災訓練の事例も紹介された。

こちら、わが市ではペットを連れた避難所の運営についてもまだ議論がなされておらず、課題認識はしている。もちろん、いざという時にスムーズな避難のためには訓練が必要だと感じた。

条例制定 立案について、わが市は手話言語条例は制定済であるが、今後、策定に当たってはワーキングメンバーの選定方法や事例研究、市民及び当事者の声の集め方、担当部局と議会のそれぞれの進め方など大変参考になりました。

## 別紙様式 1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

## 政務活動費支出書

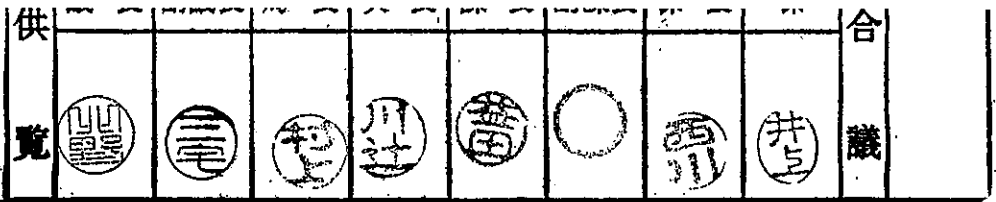
支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	6
支 出 日	平成30年4月17日		支出金額	5,000 円	
支 出 先	地方自治学習会				
支出内容	「第13回地方議員特別セミナー」参加費 出張調査報告書及び領収書は支出書No5に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	0	円減額

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

## 政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	7
支 出 日	平成30年4月25日		支出金額	38,120 円	
支 出 先	西日本旅客鉄道(株) ・アパホテル神田駅前				
支 出 内 容	宝塚⇄東京@14,160×2 ・宿泊料¥9,800				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額





別紙様式 3-2 (議員用)

出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先 (研究・研修会会場)

2 期間 平成 30年4月25日 ~ 平成30年4月26日

3 出張者氏名 (議員名) 浅谷 亜紀

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付  
地方から考える社会保障フォーラム

5 旅費

①鉄道賃等

月日	交通機関	経路	金額	領収書の有無※	備考
4.25	JR	宝塚~東京	14,160円	有・無	
4.26	JR	東京~宝塚	14,160円	有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
合計			28,320円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人	1泊	金額	計	9,800 円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ 27,000 × 1 人 = 27,000 円

【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。  
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



領 収 書

Receipt 浅谷 亜紀 様

領収年月日 2018.-4.24  
金額 ￥28,320 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(00091 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅

宝塚駅MK1発行 10092-02

印紙税申告納  
付につき大淀  
税務署承認済



APA HOTELS & RESORTS

領 収 書

浅谷 亜紀 様

領収金額

¥9,800

(内消費税等 ¥725)  
クレジットカードにて9,800円  
領収いたしました。

アバホテル <神田駅前>  
TEL 03-3526-5715

印紙税申告納  
付につき麻布  
税務署承認済

アバホテル株式会社  
作成地  
東京都港区赤坂3丁目2-3

取引番号:0620020042504350 2018/04/25 20:51

お部屋番号: 202

お名前 : アサタニアキ様  
ご人数 : 1  
宿泊期間 : 2018/04/25 - 2018/04/26

クレジットカードご利用明細

ご利用日 : 2018/04/25  
カード番号 : ██████████  
お支払方法 : 一括  
承認番号 : 001012  
伝票番号 : 062002-20180425205057-00331  
ご利用金額 : ¥9,800

領 収 証

浅谷 亜紀 様

¥27,000円

但

第15回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として

2018年4月25日

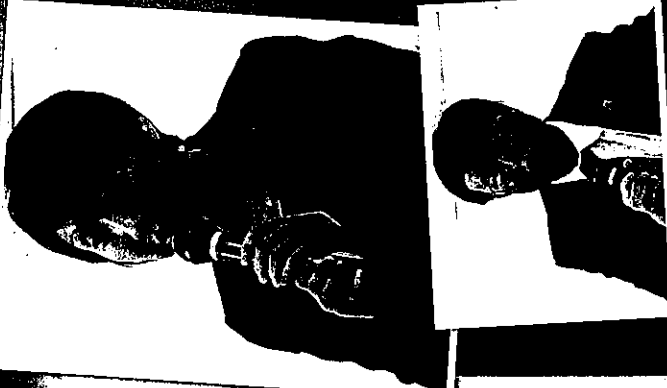
上記正に領収いたしました

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3児

地方から考える「社会保障フォー



# 第15回 社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム



定員 **60**名  
定員になり次第 締切

## セミナー開催のご案内

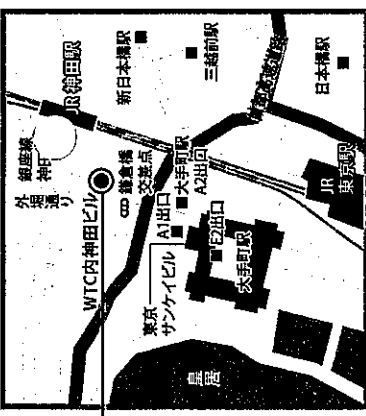
ご存知の通り、わが国の社会保障費は年々増大しています。平成30年度の予算ベースでは、国が負担する社会保障費は過去最大の約33兆円内で歳出全体の3割超を占める見込みとなっています。この4月に「第7次医療計画」、「第7期介護保険事業計画」および「第3期医療費適正化計画」がスタートし、「診療報酬と介護報酬の同時改定」が行われます。今回はこの、史上初のトリプル計画・ダブル改定を意図してプログラムを作成しましたので、厚労省政策担当者からダイレクトにお話しただき理解を深めていきたいと思っております。初めに「平成30年度厚生労働省予算と地域共生社会への取組み」について、野崎伸一厚生労働省政策企画官からお話をいただき、「地域包括ケアシステムと診療報酬・介護報酬改定」と題して黒田秀郎医療介護連携政策課長からお話しいただきます。「生活困窮者自立支援制度の見直しと生活保護法の改正」については八神敦雄大臣官房審議官から、他にも、「子育て支援の新たな展開」については北澤潤厚生労働省子ども家庭局母子保健課長から、「市町村はデータヘルズに如何に取り組むか」についてなど、政策担当者と地方議員の皆様とでの貴重な意見交換の場となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 講演予定講師
- 野崎 伸一氏 厚生労働省 政策企画官
  - 島井 陽一氏 厚生労働省 保険局国民健康保険課長
  - 八神 敦雄氏 厚生労働省 大臣官房審議官
  - 黒田 秀郎氏 厚生労働省 保険局医療介護連携政策課長
  - 北澤 潤氏 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課長
- 講演名は講演日将予定順に掲載しています。プログラム内容の詳細は中へ

日時 **平成30年4月25日(水)、26日(木)**

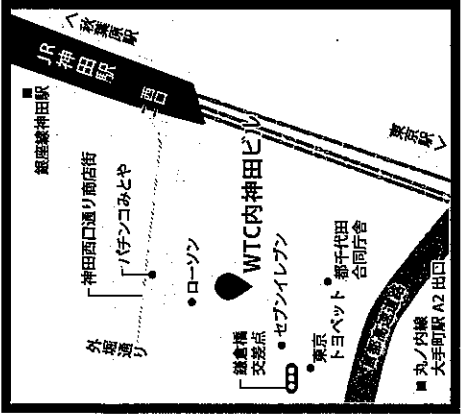
参加費 4月18日(水)までに 27,000円(消費税込み) をお振込みください。

会場 **㈱社会保険研究所** 〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ヒル7階 JR神田駅西口下車徒歩5分



**交通手段**  
JR線：神田駅西口 徒歩5分 / 有明線：神田駅 徒歩6分  
丸ノ内線：大手町 A2 出口 徒歩5分

**JR神田駅からの行き方**  
神田駅西口を出てすぐの「西口商店街」を200mほど直進し、「パチンコみとや」がある小さな十字路を左折、150mほど行った左側の8階建てのビルです。



東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル  
㈱社会保険研究所7階  
TEL: 03-3252-7901(代) / FAX: 03-3252-7971

Web版 無料会員登録募集中です  
Web 医療と介護  
<https://info.shahho.co.jp/nyou/>  
Since1973  
年金時代  
<https://info.shahho.co.jp/nenkin/>

社会保険旬報 一 医療に関する全ての情報を提供一  
・医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。  
・介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。  
・社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討論」の概要を掲載。  
見本誌をご希望の方、購読のお申込みをいただいた方は(株)社会保険研究所までご連絡ください。  
TEL: 03-3252-7901(代)

## 第15回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加申込書

お名前	〒□□□□-□□□□
ご住所	〒□□□□-□□□□
フリガナ	所属職名
電話番号	
FAX	
Eメールアドレス	

※ご記入いただいた個人情報、フォーラムにご参加いただいた後、皆様へのご案内、情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 **FAX 03-3527-1028** または  
Email **tirare@abelia.ocn.ne.jp** で申し込みください。  
〔振込先〕三菱東京UFJ銀行 神保町支店  
〔口座番号〕(替) 0506395

お問い合わせ先 **TEL 03-3253-0570** 不明な点は、左記までお問い合わせください。

社保研ティラーレのホームページからもお申し込みいただけます。 <http://tirare.jp/>

## 会場案内図

## 後援

# 4/25 (水)

## 1日目

12:00~	受付開始
12:45~	開講の挨拶、オリエンテーション
13:00~14:00	<b>議題1</b> 「平成30年度厚生労働省予算と地域共生社会への取り組み」 野崎伸一氏 厚生労働省 政策企画官
14:00~14:30	討議 (30分間)
14:30~14:40	休憩 (10分間)
14:40~15:40	<b>議題2</b> 「市町村はデータヘルスに如何に取り組むか」 鳥井陽一氏 厚生労働省 保険局国民健康保険課長
15:40~16:10	討議 (30分間)
16:10~16:20	休憩 (10分間)
16:20~17:20	<b>議題3</b> 「生活困窮者自立支援制度の見直しと生活保護法の改正」 八神 敦雄氏 厚生労働省 大臣官房審議官
17:20~17:50	討議 (30分間)
17:50~	情報交換会
18:50	終了

1日目  
4/25 (水)  
講師一覧

● 野崎 伸一氏

東京都出身。1999年厚生省入省。雇用均等・児童家庭局、米国留学、医政局、障害保健福祉部、外務省出向(在米国大使館)、健康局を経て、2015年に社会保障担当参事官室。2016年より現職。

● 鳥井 陽一氏 (予定)

熊本県出身。1991年厚生省入省。2011年大臣官房総務課企画官、2013年保険局保険課長、2015年10月から内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)。2017年より現職。

● 八神 敦雄氏

神奈川県出身。1987年厚生省入省。2006年保険局医療課保健医療企画課調査室長、2010年総務省行政管理局管理官、2013年年金局総務課長、2015年10月から大臣官房参事官(人事担当)。2017年7月より現職。

# 4/26 (木)

## 2日目

9:30~	受付開始
10:00~11:00	<b>議題1</b> 「地域包括ケアシステムと診療報酬・介護報酬改定」 黒田 秀郎氏 厚生労働省 保険局医療介護連携政策課長
11:00~11:30	討議 (30分間)
11:30~12:30	昼休み (60分間)
12:30~13:30	<b>議題2</b> 「子育て支援の新たな展開」 北澤 潤氏 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課長
13:30~14:00	討議 (30分間)
14:00~14:10	休憩 (10分間)
14:10~15:10	<b>取組の現場から</b> 社会保険研究所グループ 「社会保障旬報」、 「年金時代」、 (株) 社会保険出版社、 (株) フィスミック
15:10~	終了の挨拶 次回開催のお知らせ
15:15	終了

2日目  
4/26 (木)  
講師一覧

● 黒田 秀郎氏

福岡県出身。1991年厚生省入省。2001年から2004年まで宮城県庁に出向。2010年雇用均等・児童家庭局総務課少子化対策企画室長、2013年年金局企業年金国民年金基金課長、2014年8月から内閣官房内閣参事官(内閣総務官室)。2016年6月より現職。

● 北澤 潤氏

長野県出身。1992年厚生省入省。1998年文部省体育局、2003年埼玉県健康福祉部健康づくり支援課長、2007年栃木県保健福祉部保険医療監、2009年栃木県保健福祉部長、2011年厚生労働省保険局総務課保険システム高度化推進室長、2012年健康局疾病対策課肝炎対策推進室長、2013年医政局医事課長、2015年社会保険診療報酬支払基金審議役。2017年7月より現職。

※ 講師・テーマは予告なく変更されることもありましますので予めご了承ください。  
※ 原簿は各自でお取りください。

第14回 地方から考える 「社会保障フォーラム」セミナーの様子



## 第15回地方から考える「社会保障フォーラム」変更点

### 1、講師の変更

4月26日(木) 講義2 12:30~13:30 「子育て支援の新たな展開」

厚生労働省 子ども家庭局母子保健課長

北澤 潤 氏 ⇒ 平子 哲夫 氏

人事異動のため 変更になりました

### 2、会場変更

東京都千代田区内神田 2-4-6 WTC 内神田ビル (株)社会保険研究所 7 階

TEL:03-3252-7901(代) / FAX:03-3252-7971

↓

会場名(貸会議室) ビジョンセンター東京有楽町

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-6-2 銀座 Aビル 3 階

参加者多数のため変更させていただきました。

宝塚→東京 2018年04月25日11:30到着

08:07発→11:30着 3時間23分(乗車3時間11分)



乗換: 2回 581.9km

IC優先: 14,160円 (乗車券9,290円 特別料金4,870円)

08:07	<b>発</b> 宝塚	乗車位置: 前/中/後[4両] 中/後[6両] 中/後[7両] 中/後[8両]
4駅	JR宝塚線快速・木津行 2・3番線発→7番線着	9,290円
08:28着 08:30発	○ 尼崎(東海道本線)	乗車位置: 中/後[8両] 前/中/後[10両] 前/中/後[12両]
2駅	JR神戸線新快速・草津行 8番線発→12番線着	
08:46着 08:56発	○ 新大阪	
5駅	JR新幹線のぞみ310号・東京行 26番線発→14番線着	自由席: 4,870円
11:30	<b>着</b> 東京	



□「地域共生社会」の実現を目指して  
厚生労働省 政策企画官 野崎伸一氏

2017 年、65 歳以上の高齢化率は 27%。

2065 年には 39%になり、75 歳以上の後期高齢者だけで 26%になる。

生産年齢人口は半分に減少。

人口 5 万人未満だと何においてもマンパワー確保問題が顕著に。

保育所整備など大切であるが、それは都市部の問題であり、地方ではまちを維持していくこと自体が問題。  
地域包括ケアの推進の目的は、福祉に留まらない。

2030 年、主な産業別就業者数将来推計で、医療福祉の就業者数は卸小売業を抜き製造業にほぼ並ぶ水準に。  
高齢化による医療介護ニーズの増加により、医療福祉の人手不足が一層深刻。

社会保障制度は、昔の大家族であれば「自助」「互助」が大前提で、それでも無理なら「公助」という考え方であった。

生涯未婚者は 5%から 25%になり、単身世帯の増加は著しく、2030 年には男性の 3 割・女性の 2 割は単身世帯となるなど、大きく変わった。

公的支援は縦割りで、個人ごとに異なる複雑化したニーズには応えにくく、制度の狭間や境界線の問題が生じる。  
孤立が問題になり、大きな構造転換が必要。

経済は右肩上がりではなく、新たなものは作りにくい。

今ある資源を活かして「社会的価値」を生み出していく（量から質へ）

地域包括ケアの理念は、高齢者だけでなく「すべての人」へ。

高齢者では「働く」という視点が弱い、病気を抱えていても福祉や生活支援、相互支援といった機能が必要になってくる。

福祉・産業は他人事ではなく、地域の一員として自分ごとにしていく。

その中で医療福祉の個別支援ニーズは変わらないが、公的支援で出来ることは限られており、必要な人に届かない場合も多い。

これまでの行政は国から地方へのトップダウンであったが、今後は「地域のつながり」で地方側からボトムアップで作っていく。

地域はすべての人の生活の基盤であり、すべての社会・経済活動の基盤だ。  
地域共生社会は「地域」「暮らし」を支える。



何が実現できるのか。

ex おおた高齢者見守りネットワーク

地域包括支援センターが住民や商店街など地域を巻き込み発足

個人会費・専門職・民間企業が協賛金を出し合い収入として運営する。

繋がる仕組み

空き店舗を改装した「ステーション」

新しい商品開発で売上増に

ex 暮らしづくりネットワーク北芝

ex DAYS BLG! NPO 町田市つながりの開

ex 京田辺市 農福連携・共生のとりくみ

ex 東近江市 里山整備 引きこもりの方々の仕事に 薪木の販路拡大

地域の循環を生む「しかけ」

地域・事業者・利用者が三方よし←支援ではなく、役割を持ち社会との関わりをサポートする

地域の実践より

より良い暮らしを探索する過程で、地域づくり・まちづくりに発展

地域の「循環」を生む「しかけ」つながりのキーワードは「役割を持つ」「参加する」「働く」

文化・社会・経済・政策的な仕組みが人々の教育水準、職業、収入などの社会経済的地位を決定する。

「福祉」ではなく「地域づくり」に資する一体的な実施で、個別支援ではなく面として支える。

介護保険制度の地域支援事業、障害者総合支援制度の地域支援事業など、事業の効果、効率性や、対象者の生活の質を高めるために、複数の事業を連結して一体に実施し、地域が豊かになることが個々の住民支援に繋がる。

「働く」「役割を持つ」ことは「福祉」を超える効果がある。

「雇用」と「福祉」を連携させる。

今ある溝をどう繋ぐか 予算措置が必要。

「ボランティア」から「なりわい」への転換が、地域をより強く結ぶ。

\*\*\*\*

人口減少時代に「新たなも」のではなく、「今ある資源をどう使うか」という視点が大切だということに大きく領ける。

それぞれの自治体やその中でも地域により問題は大きく違っており、少ない予算で行うためにはニーズを細かく把握し今ある資源を生かしながら適切な対策を講じることが大変重要だと思う。

今の日本の GDP を維持するために「働く」というキーワードについて、高齢者・女性・移民政策など更なる熟考が必要であると感じる。

□「市町村はデータヘルスに如何に取り組むか」

厚生労働省保健局 保険局国民保険課課長 鳥井陽一氏

生活習慣病は志望数割合の約 6 割で、一般診療医療費の約 3 割を占める。

健康日本 21(第 2 次)

・健康増進に関する基本的な方向

- 1、健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- 2、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- 3、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- 4、健康を支え、守るための社会環境の整備
- 5、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善

↓

市長村健康増進計画を定める

◎ 国保制度 S34 設立

・ S53～第一次国民健康づくり

検診の充実、市町村保健センター等の整備、保健師などのマンパワーの確保

・ S63～第二次国民健康づくり

～アクティブ 80.ヘルスプラン～

運動習慣の普及に重点をおいた対策

・ H12～第三次国民健康づくり

健康日本 21

一次予防の重視

健康づくり支援のための環境整備

具体的な目標設定とその評価 (PDCA)

多様な実施主体間の連携

◎ H25～第四次国民健康づくり

～健康日本 21 (第二次)

健康寿命を延ばす、生活習慣病の発症予防

国が補助金を出してきた→老人保険法により医療を支える

S57～老人福祉事業 健康手帳の交付、教育など 40 歳以上の人が対象→介護保険でも同じようにするのに必要か？訪問指導は人的問題で困難

データヘルスの発想

レセプト情報、特定健診結果を ID 付きで持っているのは事業者だけであり、活用できる

市町村独自のとりくみだったものをデータを活用して PDCA による保険事業の実施が可能になった

PDCA により、何に医療費がかかっているのか分析する

検診審査受信者、未受診者、医療機関受信、未受診者など、データにより個々のリスクを検出し、報告する。

・介護予防をどうするか

地域の力を活かす

・国保改革

疾病予防、健康づくり

財政支援 3400 億円 (1 万円/1 人)

保険事業は基本的に市町村で行う

□ 「生活困窮者自立支援制度の見直しと生活保護法の改正」

厚生労働省大臣官房審議官 八神敦雄氏

改正の趣旨

一層の支援体制の強化 相談支援の充実 貧困の連鎖を断ち切る 住まいの支援 自立支援制度と生活保護法  
繋ぐ

生活困窮者自立支援法の主な対象者数は

ホームレス、引きこもり状態、離職期間 1 年以上の長期失業者など、全体数の把握は困難

自立支援制度により受け付ける 自立相談、ハローワーク、

H7 より

2 年で新規相談者 45 万人、プラン作成により継続的に支援した人 12 万人 など

改正

「生活困窮者とは」

「関係機関間の情報共有を行う会議体の設置」

生活困窮者に対する包括的な支援体制の強化

家計改善支援事業の国費割合が 1/3 から 2/3 に

子どもの学習支援事業の強化・居住支援の強化

引きこもりの子どもへのアウトリーチ

シェルター利用していた人、地域社会から孤立している人が戻らないように

地域住民とのつながりを作り、相互に支え合うこと (互助) にも寄与することにより、地域で継続的・安定的な  
居住を確保

生活保護受給者は 213 万人 (162 万世帯)

被保護人員は減っても世帯数は減っていない→高齢単身世帯増加 伸び率対 17 年で男性 478%女性 173%

子どもの大学等への進学支援 大学進学率 全世帯 73.2%.生活保護世帯 33.1%

大学等就学中に住宅扶助を減額しない  
新たな住宅セーフティネット制度の枠組み  
住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録  
専用住宅の改修・入居への経済的支援  
住宅確保要配慮者のマッチング・入居支援

児童扶養手当の支払い回数の見直し 年3回から6回にし、使ってしまわないように

・これからの季節社会保障

人生100年時代

引退後、どう過ごすか 社会をよりよく次の世代に どうやって?

昔は親世代、子世代で支え合ってやってきた これからは、人口減少にどう対応していくか  
生産性を上げる ロボット、AI、個人の能力を上げる

働き方改革 地域で 役割分担 高齢者、障害者など対象を分けずに皆んなで集まれる場所

□地域ケアシステムの診療報酬・介護報酬改定

厚生労働省 黒田秀郎氏

・75歳以上の高齢者数の急速な増加

日本の総人口は2010年に1億2800万人をピークに減少していき、40年後の2060年には8600万人にまでなると予測される

(江戸時代後半は3000万人、明治5年で3481万人から急激に増加)

14歳以下の人口は減少

出生率は経済状況の好転で1.4にまで上がったが、家族形成年代の人口が減っていくので人口減少は止められず、高齢者は増える

65歳以上人口は26%から40%に 特に75歳以上の高齢者人口の増加が大きい

諸外国にも、日本の高齢者人口の割合は類をみないほど高い

唯一、韓国は同じ課題を抱えており、日本の動向に注目している

要介護認定率は65歳以上で18.1%.75歳以上で32.7%.85歳以上で60%

地域で見ると、2015年から2040年までの75歳以上の将来推計は全国平均1.32倍のところ、埼玉、千葉県は1.5倍み超える一方山形・秋田県では1.1倍を下回るなど地域間で大きく違う

・世帯構成の変化

単身世帯、ひとり親世帯が増加しており、地域を支える余力に欠ける事が予測される

単身世帯は2035年には約4割

・社会保障給付費の推移

総額は1990年の50兆から2017年には120兆に

半分は年金で、医療は4割から3割に、福祉その他は1割から2割に

・高齢化に伴うニーズ変化

医療に求められるのは急性期医療だけではなく、鉄道ネットワークなどもこのままで良いのか  
生活全体、高齢化に伴い必要な事を見直すとき

・地域医療構想

患者の年齢層が変わることを起こることを数値化

→医療費を減らすためではない

急性期の患者数は減り、回復期・慢性期の患者が増えるなど需要を見通すことでエリアごとにシフトしていくように

「新公立病院改革ガイドライン」期待される機能

消費税を使って「地域医療介護総合確保基金」を創設

・地域医療構想調整会議

各県で予算を組み、どう基金を活用するか

・介護保険制度の改正 地域包括ケア強化法

1.自立支援・重度化防止に向けた保険者機能強化

2.医療介護の連携の推進

3.地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

4.2割負担者のうち特に所得の高い層の負担割合を3割とする

5.介護納付金への総報酬割の導入

「医療介護院」の創設

長期療養のための医療、日常生活上の世話（介護）を一体的に提供する

開設主体は地方公共団体、医療法人、社会福祉法人などの非営利法人など

・診療報酬・介護報酬同時改定

同時は6年に一度 H30年

共通キーワードは「地域包括ケアの推進」

安心安全で、質の高い医療介護の実現

介護現場の人材不足の解消

制度の安定性・持続可能性の確保

医療から介護にバトンを渡すとき、出来るだけ早く情報提供をし、スムーズな移行を

・看取り

配置医師緊急時対応加算の体制を整え、応援していく

- ・ 居宅介護を新たな加算で支援

- ・ 平均寿命

男性も女性も、世界最高水準

国際機関では「日本の優れた制度の成果だ」と評価されている

健康寿命を延ばす事が望ましい

- ・ 健康寿命と平均寿命の差を縮める

格差の小さい山梨県の取り組みを参考に

日々の介護予防、検診受診率、場の創設など

生活習慣に関連する疾患に関する医療費は入院・入院外ど全体の3割

ex 呉市:高リスク者の発見、呼びかけ 重症化予防

健保組合の「通信簿」

全体の中の立ち位置を見え化し、事業主に行動を促す

ペナルティも課す

データヘルスのシステムを集約し、全ての保険者を支援

「健康経営」

顕彰制度を推進 企業として社会的評価を受ける環境整備

「日本健康会議」H27.7 発足

民間主体で経済界、医療関係団体、自治体、保険者団体のリーダーで健康寿命の延伸、医療費の適正化を図る

8つの宣言

□子育て支援の新たな展開

厚生労働省 子ども家庭局母子保健課長 平子哲夫氏

1937年保険法.1947年に児童福祉法が制定。

1965年に母子保健法が児童福祉法から独立施行され、母子保健サービスが市町村事務になった。

妊婦の健康診査

望ましい検診回数は14回で、公費負担は全ての市町村で14回以上となっている

産婦検診

産後2週間くらいの不安 産後うつ対応

標準的に2週間後、1月後の2回

西日本の自治体で未整備が多い

新生児スクリーニング

血液検査で先天性機能異常など調べられ、早期に治療する事で障害を軽減できる

・子育て世代包括支援センター

フィンランドのネウボラを参考に

切れ目のない支援

「子育て世代包括支援センター」の開始後、関係機関の連絡調整、全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要な支援を切れ目なく提供

・不妊・不育症の支援

・健やか親子 21

みんなで共通の話題問題意識を持って

全ての子どもが健やかに育つ

プロセス、構造的要因 など 71 項目評価

マタニティマークを通した妊産婦に優しい環境づくりを推進

\*\*\*\*

これからはじまる福祉的な制度改正など取り組みを様々な視点から学ばせていただきました。  
宝塚市の取り組みが円滑に進むよう、提案等して参りたいと思います。

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	8
支出日	平成30年4月25日		支出金額	27,216 円	
支出先	地方から考える「社会保障フォーラム」事務局				
支出内容	第15回地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費 振込手数料¥216含む 出張調査報告書は支出書No7に添付				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可      ポイント      無      円減額

ご利用明細

本日はご利用いただきありがとうございます。  
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額      ¥27,000  
振込手数料      ¥216

お受取人は  
ミツヒ シUFJ  
シ`ンホ`ウチヨウ  
普通 #506395  
ツヤカイホウヨウフォーラム サトウ サトコ 様

お振込人は  
タカラヅ`カシキ`カイ アサタニアキ 様

お取扱日 30. 4. 20 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
767	2430	4. 20	13:20
			8055
銀行番号	店番号	口座番号等	
0009	0378	****	

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済

三井住友銀行



別紙様式 1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	9
支 出 日	平成30年5月10日		支出金額	40,120 円	
支 出 先	西日本旅客鉄道(株) ・相鉄フレッサイン御茶ノ水神保町				
支 出 内 容	宝塚⇄御茶ノ水@14,160×2 ・宿泊料¥11,800				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧									議

別紙様式 3-2 (議員用)

出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先 (研究・研修会会場)

2 期 間 平成 30年5月10日 ~ 平成30年5月11日

3 出張者氏名 (議員名) 浅谷 亜紀

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

日本自治創造学会第10回研究大会  
 明治大学アカデミーコモン棟3F アカデミーホール 東京都千代田区神田駿河台1-1

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
5.10	JR	宝塚～御茶ノ水	14,160円	有・無	
5.11	JR	御茶ノ水～宝塚	14,160円	有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
合 計			28,320円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人 1泊 金額 計 11,800 円

6 交通費	ガソリン代	円
	高速代	円
	駐車場代	円
	自動車借上料	円
	計	円

7 出席者負担金・会費 @ 13,000 × 1 人 = 13,000 円

【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。  
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



領 収 書 浅谷 重紀 様

Receipt

領収年月日 2018.-5.10

金額 ￥28,320 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(50194 4枚)  
西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅

宝塚駅F1発行

60195-01

印紙税申告納  
付につき大淀  
税務署承認済

領 収 書  
RECEIPT

相鉄フレッサイン御茶ノ水神保町

Sotetsu Fresa Inn Ochanomizu-Jimbocho

TEL 03-3518-8203 FAX 03-3518-8208

<https://fresa-inn.jp/jinbocho/>

株式会社相鉄ホテルマネジメント

お部屋番号  
ROOM No.

308

お名前  
NAME

Mr. 浅谷 重紀 様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2018/05/10	2018/05/11	1	2018/05/10	

日付 DATE	お部屋 ROOM	積 要 DESCRIPTION	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	残 高 BALANCE
05/10	308	宿泊代 11,800x 1	11,800		
	308	クレジットカード		11,800	

総合計 TOTAL	料 金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
	11,800	11,800	0	0

なお、お勘定には消費税が加算されております。  
Tax are added to your bill.

ご署名  
SIGNATURE

T 010639801 1312  
8020 00000000

ご住所  
ADDRESS

会社名  
COMPANY

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for patronage. We look forward to serving you again.

印紙税申告納  
付につき横浜  
税務署承認済  
中

**宝塚→御茶ノ水** 2018年05月10日11:30到着

07:44発→11:26着 3時間42分(乗車3時間10分)



乗換：3回

584.5km

IC優先：14,160円 (乗車券9,290円 特別料金4,870円)

07:44	<b>発</b> 宝塚	
5駅	J R丹波路快速・大阪行 2・3番線発→8番線着	9,290円
08:12着 08:15発	○ 大阪	乗車位置：前/中/後[7両]
	J R京都線・高槻行 7番線発→14番線着	
08:19着 08:30発	○ 新大阪	
5駅	J R新幹線のみ114号・東京行 26番線発→17番線着	自由席：4,870円
11:03着 11:21発	○ 東京	
2駅	J R中央線中央特快・高尾行 2番線発→1番線着	
11:26	<b>着</b> 御茶ノ水	

## 第10回日本自治創造学会

# 研究大会 プログラム

### ■ 第1日目 5月10日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～14:00	講演 <b>人生100年時代の人作り革命</b> 高橋 進 (㈱日本総合研究所理事長)
14:00～14:15	質疑
14:15～16:45	パネルディスカッション <b>若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイン</b> パネリスト 伊藤 文弥 (NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事) 横山 太郎 (Co-Minkan普及実行委員会共同代表・医師) 李 炯植 (NPO法人Learning for All代表理事) 井上 貴至 (総務省〈現在、愛媛県市町振興課長〉) パネリスト兼コーディネーター 山崎 亮 (㈱studio-L代表取締役)
16:45～17:00	休憩
17:00～17:40	講演 <b>人生100年時代の政府の取組み</b> 菅 義偉 (内閣官房長官・衆議院議員)
17:50～20:00	改革発表会兼交流会 ~改革大発信・ベスト1の選出・親睦・交流~

## ■ 第2日目 5月11日(金)

9:30～10:20	講演 <b>これからの日本をどうする</b> 佐々木 信夫 (中央大学名誉教授・(社)日本国づくり研究所理事長)
10:20～11:00	講演 <b>ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来</b> 雄谷 良成 (社会福祉法人佛子園理事長)
11:00～11:10	休憩
11:10～11:50	講演 <b>空き家対策と活用策</b> 伊藤 明子 (国土交通省住宅局長)
11:50～12:00	質疑
12:00～13:00	昼食 [12:40～(財)日本自治創造学会総会]
13:00～13:50	講演 <b>人口減と対峙する地方議会</b> 北川 正恭 (早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事)
13:50～14:00	質疑
14:00～14:50	講演 <b>日本の目指す道</b> 新藤 義孝 (元総務大臣・衆議院議員)
14:50～14:55	閉会挨拶 中邨 章 ((財)日本自治創造学会会長・明治大学名誉教授)

# 改革発表会兼交流会の開催

## ～改革大発信・ベスト1の選出・親睦、交流～

### 1. 目的

(1)従来 of 懇親会を抜本的に変え、研究大会参加者(個人やグループ)による議会・自治体・地域における新たな取組みや改革事例の発表を行うと共に、各事例をマスコミや関係省庁へ送付・紹介を行なって、改革を広く全国へ発信する

(2)参加者による投票を行ない各ベスト1[個人1、グループ1]を選出し、賞状、記念品を贈呈すると共に事務局は別途PRにつとめる

①発表の内容は (ア) 議会改革及び新しい議会活動・運営の取組み (イ) 自治体改革及び新しい自治体づくりの取組み (ウ) 市民による新たな取組み (行政との市民協力・協働、市民による地域創生など) (エ) 地方の隠れた歴史や特産品等の紹介など

②具体的なPR(発信)先は (ア) 中央紙及び地方紙 (イ) 各テレビ局(中央及び地方) (ウ) 関係省庁 (エ) 自治関係出版社

(3)PRはベスト1のほか、応募作品(発表分及び未発表分)の全てを対象とする

### 2. 発表の方法と発表者の選定

(1)発表応募者は4月20日までに発表内容(概要)を800字以内にまとめて、学会事務局に送付する(内容は発表会兼交流会参加者に会場受付で配布する)。尚、発表内容の概要には①改革の主旨②改革の必要性③改革の実績を明記する。必要な添付資料は3点以内とする。

(2)発表者はグループ(会派・友人など)2組、個人5名とし、発表時間は10分以内とし、賞状・参加賞を贈呈する

(3)発表者が規定組数・人員を超える場合は学会役員会で選考し決定する。尚、選考結果は4月25日(水)までに書面で通知すると共に応募作品の全てを発表会で紹介する。

### 3. 会場並びに開催時間及び終了時間

(1)発表会兼交流会会場は従来通り(アカデミーコモン棟)とする

(2)開始時間は17時50分とし終了時間は20時とする

①17:50～18:00(10分間) ・開会セレモニー・発表方法の説明・選考の場合は結果の発表・及びベスト1選定用紙の配布

②18:00～19:10(70分間) ・発表会

③19:10～19:45(35分間) ・懇親・交流(事務局はベスト1の集計)

④19:45～20:00(15分間) ・全応募作品及び応募者の紹介・発表・表彰・閉会

### 4. 会費は1,500円(1名)とする

5月10日(木)・11日(金)

日本自治創造学会 第10回研究大会

人生100年時代の地域デザイン  
～人口減少社会に向き合う地域社会～

参加申込書

所属	宝塚市議会
ふりがな	あさたに あき
氏名	浅谷 亜記
〒	665-88665
住所 ※参加受付票 送付先	[ 自宅・勤務先 ](どちらかに○) 宝塚市 東洋町 1-1
TEL・FAX	TEL 0797-77-9109 FAX
e-mailアドレス	aki-asatani@tgikai.zagrs.jp
学会会員 について (いずれかに○を)	既に会員 ・ <u>今回会員入会希望</u> ・ 非会員

改革発表会兼交流会 参加費:1,500円

	参加	不参加
5月10日(木) 17:50～20:00 詳細は裏面をご覧ください。 ※参加の方は下記質問にもお答えください。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

改革発表会兼交流会参加の方

1) 発表者として参加	する	しない	<input type="radio"/>
2) 1)で「する」と答えた方の発表は	個人	グループ	<input type="radio"/>

(注1) 整理の都合上、1枚につき1名ご記入下さい。

(注2) ホームページ上での申込みも可能です。http://jsozo.org

(必要に応じてコピーしてお使い下さい)

学会事務局 FAX 03-5623-0473



# 地方から未来を真剣に考える。

## ホーム

お電話によるご注文・お問い合わせは03-5623-0472

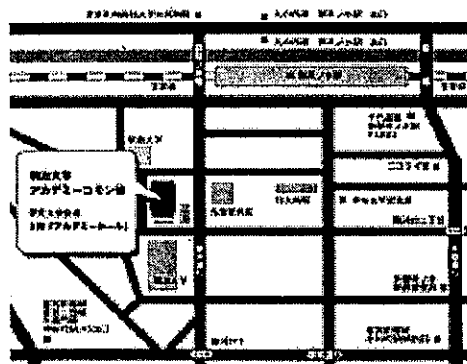
- ・ ホーム
- ・ イベント情報
- ・ 新着情報
- ・ 組織概要
- ・ 入会案内

イベント情報

○ イベント

## 人生100年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～

- ・ 日 時 :
  - ・ 平成30年5月10日(木) 13:00～17:40
  - ・ 11日(金) 9:30～14:55
- ・ 場 所 :
  - ・ 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
  - 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1



- JR中央線 「御茶ノ水」徒歩3分(御茶ノ水橋口を出る)
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線「神保町」徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」徒歩5分

お申し込みはこちらからどうぞ

- ・ 参加費 :

第10回 2018年度 日本自治創造学会 研究大会

# 人生100年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～

## 日時

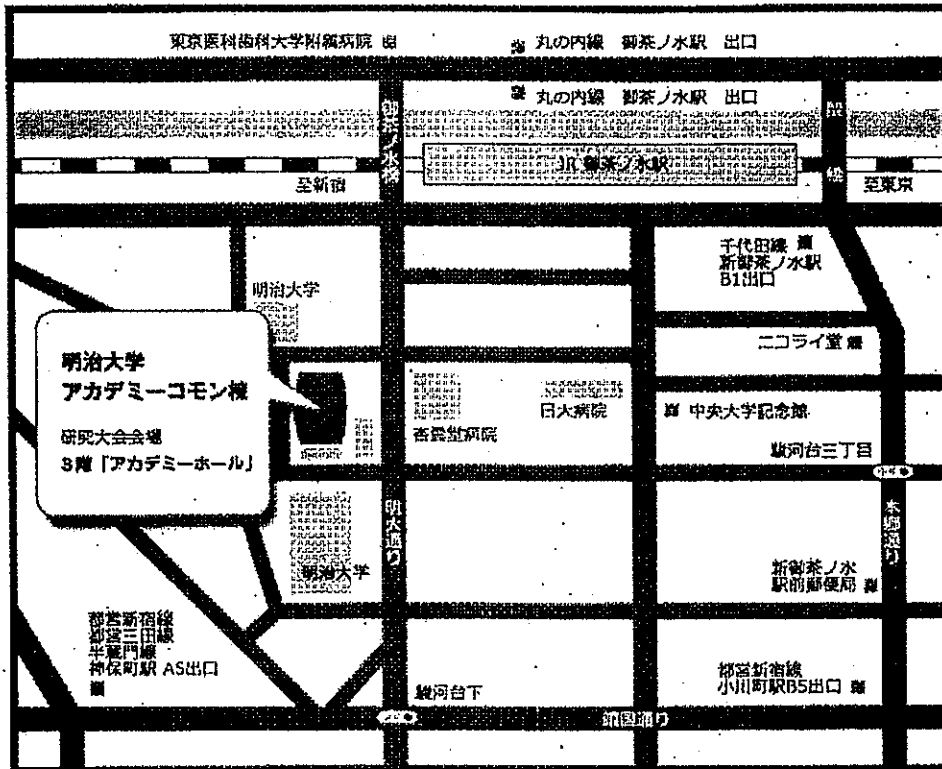
平成30年5月10日(木) 13:00～17:40  
11日(金) 9:30～14:55

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール  
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
TEL: 03-3296-4545[代]

参加費 会 員 13,000円(年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)  
※大学院生会員参加費 2,000円(年会費、2日間大会参加費・資料代含む)  
非会員 15,000円(2日間大会参加費・資料代含む)  
※大学院生非会員参加費 3,000円(2日間大会参加費・資料代含む)  
改革発表会兼交流会 参加費 1,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

## 会場のご案内



- JR中央線 「御茶ノ水」 徒歩3分 (御茶ノ水橋口を出る)
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」 徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線 「神保町」 徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」 徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会  
The Japanese Society for Local Democracy

会長 中邨 章 ・ 理事長 穂坂 邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2-707

(事務局) NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5623-0472

FAX 03-5623-0473

<http://jsozo.org>

E-mail: info@jsozo.org

<第10回 日本自治創造学会 研究大会>

「人生100年時代の地域デザイン～人口減少社会に向き合う地域社会～」

□「人生100年時代の人作り革命」

株) 日本総合研究所理事長 高橋 進氏

- ・安倍政権のこれまでの取り組みとこれから  
デフレ脱却・経済再生  
脱却に向けて動いてきた  
しかし、デフレ脱却しても人口は減少し高齢化は進む  
経営者の悲観論は未だ止まらない  
労働参加率を引き上げ、生産性を上げることが大切である。

○ 将来課題を見据えた持続的な経済財政の基盤固め

1. 社会保障改革: 全世代型社会保障の実現に向けて  
増税せず、乗り切るには?

2. 人づくり革命: 少子化対策、教育改革

労働参加率を社会的にあげるには?

一人一人の生産性を上げるには?

3. 生産性革命: 潜在成長率の引き上げ

一人一人の能力を上げるには

IT活用

→ これら1~3はマクロ経済的視点

4. 地域活性化に向けた仕組みづくり

○ 「2」の「人づくり革命: 少子化対策、教育改革」

「一億総活躍」

女性、高齢者、非正規の若者 → 労働参加率を上げる

労働者人口が減少しても労働参加率を上げられれば生産性は保たれる

「働き方改革」

「人生100年時代構想」

人の「能力」を上げる

教育の無償化、教育改革、

・労働参加率

女性の労働参加率 M字カーブは解消に向いている

配偶者のいる女性の労働参加率も上がった

## ・働き方改革

20~64歳人口は減少したが、元気な高齢者は増加。  
技術革新・グローバル化の進展により生産性を上げる、  
AIやロボット等の技術の進展に伴う職業の消滅と誕生  
→ 多様な働き方の実現と働き手の参画  
課題は人材育成と最適配置

100年時代・人生は長く、一つの仕事を全うする人は減少する  
教育負担の軽減、無償化  
いくつになっても学び直しができる教育を実現する

## 人生100年時代構想会議の進捗

### 1、幼児教育無償化

幼児教育の効果 → 幼児期の教育の重要性 能力を上げる

将来の所得向上、生活保護率の低下等の効果が著しい

「無償」とは全員ではなく、環境により学びたくても学べない子どもに向けたもの

### 2、特機児童の解消

### 3、高等教育の無償化

### 4、財源

### 5、継続検討事項

リカレント教育

大学改革や大学教育の質の向上

## ・高等教育改革

社会全体の構造の変化

高等教育における人材育成 実践的な力を

そのために、研究教育体制の強化

大学間の連携、ガバナンス改革

18歳人口の減少と大学の数

4割強の私立大学が定員割れ

現在の「入るのが難しく出るのは簡単」から 高等教育の質を上げる必要がある

リカレント教育の質を上げる

仕事に繋がるように

主体は「大学」だが、社会人教育してくれる産業界と連携すること

→安倍政権で人作りの根っこの改革を進めている

「3」.生産性革命:潜在成長率の引き上げ

第4次産業革命

IOT ビッグデータを解析し価値のあるものに

社会自走する

□パネルディスカッション

「若者たちの挑戦 ～人口減少社会の地域デザイン～」

コーディネーター 山崎 亮氏

パネリスト 伊藤文弥氏、横山太郎氏、李 氏、井上貴至氏

・山崎 亮 氏

若者とともにまちをつくる

機嫌が悪くなるディスカッションを、若者は嫌う。

そんな若者を知り、コミュニケーションをとってもらわないと、若者とともにまちづくりは進まない。

政府と市場が提供してくれるだけでは、まちはつくられない。

その間に、昔は「家族」などあった。

自治会でもコミュニティだけでも繋げない。

地域予算的な取り組みも、若者はなかなか興味がわからない。

若者を巻き込むには、それが「正しい」だけでは進まない。

「美しい」「かっこいい」「気持ちいい」

「楽しい」などが必要。

→行動経済学

ex 有馬富士公園のデザイン

住民参加型デザインプロジェクト

50以上の団体と話し合い、ルールを決める。

ただ、団体に森で活動してもらう。

それぞれの小さいいつもの活動を、してもらうだけ。

参加した人にブログを書いてもらうことで

「楽しくなった」「新しい友だちができた」

「生きがいがあった」

広がる。

住民が仲間を作り、活動することで生き生きと暮らせるようになる。

効果的、効率的 予算を使わなくても充分出来る。

「パークレンジャー」

「整備」の役割分担。

養成講座を実施してみんなで学び、みんなで公園をつくる。

10年計画で、年30人×9年経った。

プラス10年に行政契約変更。

10億かかる公園整備を、事業者が1～2年でただモノをつくってオワリにするのか、

入り口整備だけ2億かけ、3億でシステムを作り、残りを材料、講座料などに向け市民とともに10年進んでい

くのか、違いは大きい。

「貨幣資本」から「時間資本」という考え方に変換する。

「10億かけて1~2年で一気に事業者が整備し、住民は利用するだけ」から「10億かけて10年間住民が整備しながら利用する」にシフトする。

やりがい、生きがい生まれる。

ex 秋田 エイジフレンドリーシティ

講演会をしても、なかなか人は集まらない

→ 聞くだけではおもしろくないから

「住民参加型展覧会・2240歳スタイル」

市民が作るまちの展覧会

美術館県民ギャラリーにて50人にリサーチしヒアリングする

「楽しく生きている高齢者」を展示する

手の届く範囲に必要なモノを置いている居間を会場にそのまま展示

スーパーで買ったものや金額を買い物カゴに入れた形で展示。高齢者が何を買い食べているか。

高齢者に服を借りてきてマネキンに着せる。

大家族・一人暮らしなど、服の色や柄の違いが出る。

「衣・食・住・元気」を参加型で展示する

「高齢者」を「先輩」と呼ぶ

結果、1600人以上の方が来場した

「気づき」ヒント12個

「5000歳合唱」

知らぬ間に生まれた友だちの輪

年の差フレンズ

面白い所を見つける

・いいね！プラス「イエスアンド」の受け答え

アイデアを足して重ねていく

どんな話も肯定しながら言葉をプラスして進めていくうちに、相手の真意が見えてくる

「面白い繋がり」

「市民参加型」人々の気持ちを考え、市民が動き出すきっかけはなにか

そこが重要

・「ごきげんファーム」伊藤文弥氏

農業と障がい・障がいのある人の就労の場・「農福連携」

農業で難しいのは、仕事料が年間で幅があること

冬場は加工品（ジュース）など

地域から愛されるために 農業イベントも

作ることと売ること・増やすのはどちらも

精神障がいの方の就労

精神障害者用のベッド数 世界の1割は日本にある

→ 日本では地域に受け入れられていない

・横山太郎氏

高齢化問題

問題は、高齢者が増えていることより孤立していること

OECDで最下位 日本は「長く孤独に生きる国」

身体的・精神的な部分は医大で学んでも、社会的なことは学ばない

医師は「病気の担い手」から「健康の担い手」になる必要がある

つどう×まなぶ=むすぶ

公民館の役割：学んだことを地域住民が個人で使う<sup>の</sup>ではなく、その知識を公的に使えるように

市民の社会参加によって改善した例

公民館はともに学び合う場所

・李 ひょうんぎ氏 特定非営利法人 Learning for All

子どもの貧困：7人に1人が貧困の子ども

教育格差を終わらせる

学習支援事業

ノウハウを提供し、多くの方に

学力だけでなく大人とコミュニケーションできない子供たち 虐待の恐怖 信頼できない

衣食住のアセスメントを

「子どもの家事業」

まずは遊ぶことからという子も



□「地域づくりは仲間づくり」

総務省 井上 貴至氏

「行革甲子園」

企業と自治体(行政)の違い

企業は関心がある人だけが対象であるが、行政は反対の人も関心がない人も含め全ての住民が対象  
範囲

企業は全世界 自治体は地域独占

公務員はチャレンジングな仕事

住民からの長期的な信頼が大切

他人事から自分事へ

・パネルディスカッション

「若者として地域活動で感じていること」

若気の至り

地域への根回しは大切

話を聞くこと 意見の主体は地域に

食べるものをサポートだけでなく、まなぶ機会も

本当に大変な子は、子ども食堂に来ているのか

行政の連携で

誰のためのものか原点にかえてみる

「活動を広げていくには」

地域と繋がる 活動に関心を持ってもらえるために、レストランを始めた事がよかった

知ってもらうために、たまごを売ってみる

レストランに来た人が知るしくみ パンプ

野菜販売 「福祉」をしつこく説明しないように

ex 箕面市 個人情報してもらえる整備ができていたので、支援しやすい

「議員が出来ること」

顔つなぎ

発信

広がるきっかけ

まちの過去や事業の歴史を聞く

貧困支援として自治体で学習支援は50% まだ足りない

視察対応が大変

地域で反対の声に対応してもらえた

議員は市民のシンクタンクに

□内閣官房長官 菅義偉 氏

故郷と関係を持ちたい、貢献したいと多くの人が思っている

総務大臣の時、「ふるさと納税制度」を作った。

しかし、総務省では大反対。

受益と負担をどう考える？

ふるさとの定義は？

税制を変えたいとの思い。

税の自由度を上げたかった。

当初は 400 億円。

ストップにし、1割を倍にしたいと思い、

官房長官になって実現した。

H29 は 3000 億円を超えた。

各自治体がそれぞれ考えて続けていく。

過度な返礼ではなく、ふるさとを思う原点を大切にしたい。

第一次安倍政権

「地方の元気なくして日本の元気なし」

何を成すかを明確に打ち出して、前に進めていく政権である。

経済再建を最優先に。

強い経済は、国の源である。

国家予算の 44% は社会保障費。

財源の裏付けなしには進められない。

だから、そのためにも強い経済が絶対に必要だ。

三本の矢により、実現していく。

5年5ヶ月で間違いなく経済は伸びた。

GDP は 551 兆円。58 兆円の拡大。

雇用は 251 万人の増加 うち女性が 201 万人。

保育所など 59 万人分の整備をし、今後も 32 万人分整備、ヨーロッパの 82% まで広げたいと思う。

政権交代前は有効求人倍数 0.83 倍であったところ、1.59 倍となり、就職氷河期から売り手市場にかわった。

経済政策は大きな成果を上げたと考え、自信を持ってさらに推進していく。

「アベノミクスの効果はお金持ちだけ」と言われるが、経済が活性化したことで公的年金の運用益は 5 年で 56 兆円増加し、日本全体の利益となっている。

・成長戦略「インバウンド政策」

地方創生の柱に観光戦略を据え、観光立国を国民に約束した。そのために、ビザの緩和

地方の名産品を免税対象に

外国人観光客は 830 万人から 2870 万人となり、2000 万人も増えた。

免税品も 1 兆円から 4 兆円に。

以前は薬品、化粧品、地方の名産品は免税ではなかったため日本には免税品売り場がほとんどなかったが、激増した。

地方創生の柱といっても過言ではない。

訪日外国人について、2020 年には 4000 万人という目標を掲げている。

今年、3340 万人になるだろう。

インバウンドは世界平均で 4%伸びるが、アジアでは 6%伸びる。

世界で観光の魅力は

「自然」「気候」「文化」「食」であり、日本は全て満たしている。

地方の魅力を作るのは地域自治体だから、国は、がんばる地方を応援したい。

無い物ねだりではなく、あるものを磨き地域を作っていく。

ex 国立公園は 34 ある

守るだけでなく、開発もできるように法整備した。

8つの国立公園で、大幅な魅力作りに取り組んでいる。

日本の文化施設は多彩だ。

赤坂、京都 迎賓館を国民に解放した。

また、多くの施設は 5 時で終わるが、遅い時間まで特別観覧の機会を作ることで魅力を増す。

安全安心・危機管理

テロ、北朝鮮核ミサイルなど、突発的に起こる事案への対応は官房である。

北朝鮮の核実験は、広島の 10 倍の規模である。

今後とも大きな脅威から国民の安全守らなければならない。

□「これからの日本をどうする」

中央大学名誉教授 佐々木信夫氏

東京オリンピックが成功した、その先は？

2020 年以降は断崖絶壁か

国地方 200 兆円

GDP500 兆円の概ね 1/3

「行政社会主義国家」

地方政府 地方の役割が大きい

地方分権改革

地方主体のはずが、未だ中央集権のまま

地方版「地方創生計画」を作らせ、国が良し悪しを決める

地方主体となっていない

人口は減り始め、税は増える

必要なのは「縮小」

システム改革で 30~40 兆円削減できる

160 兆円のうち税は 100 兆円しかない

憲法改正 地方主権を謳うべき

人口減少を止めるための憲法改正？

教育の無償化（全体）は若者を庇護のもとに置くことになる

一律給付行政は考えるべき

人口は増え続けなければいけないか

定員に向かって正常化していくことだ

狭い国土、1億3千万人が暮らしやすい国になる

1200 兆円の借金 内需を支える公金 GDP500 兆円

経済が成長した国は人口減少していく

政治で新たな国づくりを

行政システムは人口増時代のままではいけない

合計特殊出生率 1.43 を希望出生率 1.8 に持ち上げる

2060 年でも 1 億人をキープ

少子化

母が 28 歳から 39 歳までで 90% が生まれる

2/3 は婚姻 1.8 人

1/3 は未婚、不子

晩婚化、高学歴化

就職氷河期、将来への不安、など不子の理由

子どもがいる親がもう 1 人子どもを産むか、1.8 人の子どもを産むか

国民 1 人 1000 万円の公的借金あり

4 人家族で 4000 万円になる

シルバーデモクラシーが足かせに

GDP500 兆円は 20 年間変わっていない

アメリカ 25%、日本は 18% 占めていた

この間、世界は倍に アメリカも倍に

日本シェアは9% 世界の中で割合は半分に縮小した  
中国は3%から10%に大きく拡大  
インフラ問題 10兆円、

歳出 160兆円に対し 歳入は100兆円 しかない どうするか

歳出規模に合わせ増税？

歳入規模に合わせ縮小？

どちらもしにくい

ならば、135年続けてきた都道府県47区割りをよりまとめ、ムダを省く必要がある

問題は主要な意思決定が一極集中であること

ヒト・モノ・カネ・情報 全て

改革すべきは意思決定の仕組みを地方主権に

フトインフラの大改革

「揺りかごから墓場まで」を市町村でできるように

東京は一極集中であっても確実に老いている 小さくしなければいけない

「空き家対策の活用策」

国土交通省住宅局長 伊藤明子氏

現実と問題

人口減少、東京一極集中

世帯数 2023年ピークであり、まだ新たに建てている状態

オリンピックが終わるところから問題は大きくなる

空き家総数 820万戸

10年で1.2倍に

問題は賃貸用、売却用ではなく「その他の空き家」の318万戸

壊されるべきものが放置されている

地域で数の差が大きい

人が住まないと空き家になる

地域特性に応じて対策をたてる → まちづくりの観点で

・対策

空き家対策特別措置法 H27.5 施行

対策計画、実態把握、跡地利用、特定空き家に対する措置

A 固定資産税課税特例 1/6

→ 特定空き家は特例の対象外に

B 相続してから3年以内に上物（耐震性のある物件）を譲渡した場合、譲渡所得から3000万の特別排除  
支援策

ex 除去費用を補助

専門家派遣

活用策として公益に活用すれば補助

「壊すべきものは壊し、活用すべきものは活用する」

解体撤去費用→補助制度あり

利用→住宅 分譲か賃貸 補助制度あり

住宅以外 用途転換 グループホーム、飲食など補助 改修費など

相続時に空き家は発生する → 予防する

全体の地域経営として地域に応じて

郊外の住宅団地 → 協議会を作り、計画策定など補助

「フラット 35」

住宅支援事業補助

移住支援に対して機構が金利を下げるなど補助

その他の空き家の問題 → 所有者は売れると思っていない

日本は新築売買が 8 割

ex マンション購入の際は将来売買を考える

戸建ての場合、考える人は少ない

売買は新築から中古が増

ex 若年子育て世代

中古は割安 → 購入後リフォームして入居

ex 売却し老後生活を検討する

既存の住宅 経年劣化木造住宅は 20~25 年で価値がなくなる → 価値が「ある」と変えていくべき

宅建業法改正、宅建業者がインスペクション→ 安心性を「安心 R」マークでアピール

業者は 3% 上乗せ、保険にスムーズに入れる などメリットあり

業者団体に対して支援

買取再販 流通課税が 2 回かかる

「安心 R」に対して事業者は不動産取得税を免除等してもらうように

公共団体の空き家部局の持つ空き家情報を、了解をもらい事業者へ渡す

「除去費用ローン」を作る

家の持ち主は地元にはいない → 空き家になる前に対応する必要がある

事業者は地域の価値を落とさないため

既存住宅の流通に前向きになってきた

「住宅セーフティネット法」

住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度

登録住宅の改修入居への経済的支援

住宅確保要配慮者のマッチング入居支援

農地付き空き家 農地法で面積要件を下げ移住者支援

ex 北九州 リノベーションまちづくり

通りの活性化

ex 京都

下宿 改修費の補助

戸建ての用途転用基準を下げ、グループホームや飲食に

所有者不明土地を円滑に利用する仕組みを構築

空き家は不動産事業者や金融機関に協力いただき、個々ではなく地域として無くしていく

□「日本の目指す道」

元総務大臣 進藤義孝氏

日本の経済成長

地位は低下している

30年間 GDP は伸びていない

人口減少はこれまでに経験したことないほどの事態

1.46 の合計特殊出生率を 1.8 に 希望出生率

ひと組の夫婦が 2 人の子どもを育てれば良いが、難しい

人口維持できるのは 2.07

フランスほか日本の自治体の中にも維持できる地域はあるが限られている

置換基準の 2.07 であっても、今の人口に戻すのに 80 年かかる

経済の国境を下げ自由貿易体制を

様々なブロック経済を敷きながらチャンスを探す

「ワニの口」を閉じる

歳出上がり歳入下がる 税収は落ち込む

税金を上げず GDP を上げることで税収を上げ、国債を減少させる

安倍政権 2012~2018 の 5 年で、経済は大きく成長した

中でも株価は 8665 円から 21610 円に

経済を伸ばすには、国の信用が大切

自由貿易体制 強い外交

国政不信は残念 しかし、本筋は誤らないこと

予算の工夫

経済成長戦略に社会保障、教育を盛り込んだ

「人づくり革命」保育の受け皿拡大、保育士介護人材の処遇改善、高齢者の能力を活かす

「生産性改革」労働時間が長く一人当たり生産性は低い、

ICT 遠隔診療の報酬加算、新しい医療の拡大、介護ロボットの活用推進、

「経済再生と財政健全化」

いかに地域で実走するか

地方創生 しごとを作るなど進んでいるが、「地方への新しい「ひと」の流れを作る」は未だ  
福岡県は東京<sup>都</sup>県へ 5700 人流出超過  
しかし、九州では福岡に 20000 人流入  
課題はなにか 分析力を  
出生率ワーストは東京、札幌  
所得は何処から入っているかなどリーサスでまちの現状を分析し、特性を客観的に評価する  
→ 必要あれば特区も活用  
今あるものをどう使うか どう手を加えるか つなぎ合わせるイノベーション

#### 「提案募集方式」

現状分析により良い事業を行う  
地方創生交付金は、全国にまんべんなく配るのではない

地域の大学、金融機関を活用する

#### 地域経営流通

人口は自然減+社会減  
まちづくりがうまくいけば「社会増」になる

#### □人口減の対峙する地方議会

早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川正恭氏

戦後 50 年の年に地方分権が始まった

政治改革 政治の原点は選挙

団体に応援してもらったら、その団体を支援しないといけない

94 年公職選挙法が改正され、選挙区が変わった。

政治資金規正法もできた

1993 年、衆議院と参議院の全会一致で「分権国家を作ろう」と決議が出され、2 年後に分権法が作られた

「地方公共団体」は差別用語ではないか

中央は「中央政府」 地方は「政府」として認められていない？

地方は交付金に縛られている

国の考え方を地方から変えよう

#### 地方公共団体の職務

「総合戦略たてて」と国から言われ、良かったらお金が付く 採点は国がする？

本来、地方が変わりそれに伴い国が変わるべき

体質的に国の補助金を頼りに地方はまちをつくる

主権者から選ばれて壇上に立っているのは地方議会

民意を反映し、執行部に求める



その後 20 年経ち、「集権」を「分権」するのではなく「地域は自ら作る」という地方創生となった  
議会が確実に実行しないと「議会不要論」が生まれる

議会の力を強める

「合議制」の議会として、様々な立場の議員が議論して決定していく

政策提案する立法機関である

議員一人一人ではなく議会が民意を反映する姿をしっかりと見せないと、議会不要論が生まれる

「議会不要論」は 7 割を超えている

議長の職務権限

議長のあり方を審議する

議員活動に終始せず、議会活動を活発に

議長を中心に空間を創造する議会に

議会の評価を上げるのは議員

議会事務局の職員の役割、必要性をしっかりと考える

□ 「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」

社会福祉法人佛子園理事長 雄太谷良成氏

三草二木 西園寺 様々な人が集まる 高齢者、障害者、子どもたち、地域の人・・・

地域の中で家々の繋がりが活発になった

高齢者×障がい者

障がい者×認知症

ひきこもり×子ども

「私がどうにかしないと」生きがい生まれる

「全ての人は役割を持っている 全ての人が機能する」

機能地域医療福祉連携の住民自治モデル

「人生の目的」と「要介護発生リスク」は大きく関係している

\*\*\*\*\*

今回、様々な方向から「人生 100 年時代」について情報を頂きました。

国の動きをしっかりと把握しながら地方が主体となって検討すべき事柄、また、地方議員としての役割を再認識し議会としてどうあるべきかなど考える機会も頂いたことに感謝します。

## 別紙様式1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

## 政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	10
支 出 日	平成30年5月10日		支出金額	13,000 円	
支 出 先	(財) 日本自治創造学会				
支出内容	5/10～5/11日本自治創造学会参加費¥11,000 日本自治創造学会平成30年度年会費¥2,000 出張調査報告書は支出書No9に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 書

No. 102

浅谷 臣紀 殿

平成 30 年 5 月 10 日

¥ 11,000

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (30.5.10~.5.11)  
上記の金額を領収いたしました

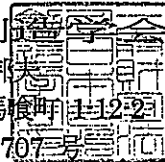
財団法人日本自治倉

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473



領 収 書

No. 102

浅谷 臣紀 殿

平成 30 年 5 月 10 日

¥ 2,000

但し 日本自治創造学会 平成30年度 年会費  
上記の金額を領収いたしました

財団法人日本自治倉

理事長 穂坂邦夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町

タック馬喰町 707号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473



(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	資料作成費	支出番号	11
支 出 日	平成30年5月22日		支出金額	148 円	
支 出 先	宝塚市役所				
支出内容	4月分複写機使用料				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可 | ポイント | 無 | 円減額

口座番号 01180-2-960249 加入者名 宝塚市会計管理者

納付書 兼 領収書 (公)

0000941-001 240100 議会総務課

歳 入	平成30年度	01	一般会計
納入者 0000215199 665-0847 宝塚市すみれが丘3丁目5番1-509号 浅谷 亜紀 様			
21 諸収入	05 雑入		
04 雑入	02 雑入		
09 複写機使用料			
金 額	金 148 円		
摘 要	4月分複写機使用料		
納期限	年 月 日		
金融機関領収済印			

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	資料作成費	支出番号	12
支 出 日	平成30年6月14日		支出金額	10 円	
支 出 先	宝塚市役所				
支 出 内 容	5 月分複写機使用料				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	0	円減額

口座番号 01180-2-960249 加入者名 宝塚市会計管理者

納付書 兼 領収書 (公)

0001561-001 240100 議会総務課

歳 入	平成30年度	01	一般会計
納入者 0000215199 665-0847 宝塚市すみれが丘3丁目5番1-509号 浅谷 亜紀 様			
21 諸収入	05 雑入		
04 雑入	02 雑入		
09 複写機使用料			
金 額	金 10 円		
摘 要 5月分複写機使用料			
納期限 年 月 日			
金融機関領収済印			

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	資料作成・購入費	内 訳	書籍・新聞等購入代	支出番号	13
支 出 日	平成30年6月20日		支出金額	9,936 円	
支 出 先	(株)ぎょうせい				
支 出 内 容	月間「ガバナンス」年間購読料 H30.4~H31.3 振込手数料¥216含む				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可      ポイント      無      円減額

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。  
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
裏面のご案内もあわせてごらんください。

213

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額      ¥9,720  
振込手数料      ¥216

お受取人は  
みずほ銀行  
東京営業部  
普通      #4913720  
カ)キ"ヨウセイ 様

お振込人は  
タカラツ"カウキ"カイ アサタニアキ 様

お取扱日 30. 6. 20 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
7672330		6. 20	13:39
銀行番号	店番号	口座番号等	
00090378		****	

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済

三井住友銀行

請求書

谷 亜紀

様 平成 30年 4月 25日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょう

代表取締役 成 吉



金額には消費税及び地方消費税が含まれております。 下記のとおりご請求いたします。  
(0450-0062799)

ご請求額 ¥9,720.-

お得意様No (請求No) 70-9209607  
804389327

お支払は 平成30年 5月31日までにお願いします。

E

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
月刊「ガバナンス」 30年 4月号～31年 3月号	購読料	1	9720	9720	

(振込先) みずほ銀行 東京営業部  
普通預金 4913720 カ)キョウセイ  
(要打電項目) 804389327 アサニ アキ

( 8 )

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	会場費	支出番号	14
支 出 日	平成30年5月19日		支出金額	1,500 円	
支 出 先	宝塚市立地域利用施設御殿山会館管理運営委員会				
支 出 内 容	5/19市民への市議会報告と意見聴取 会議室利用料				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 証 あたりに亜紀  
おしゃべりサロン 様 No. 29571


金額  
¥ 1,500

内 訳  
 現金  
 小切手  
 手形  
 消費税額等 ( % )









但 会議室 @ PM  
 2018年5月19日 上記正に領収いたしました

収入印紙  


〒665-0841 宝塚市御殿山  
 宝塚市立地域利用施設  
 御殿山会館管理運営委員会  
 TEL&FAX 0797-81-6656





供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合	
									議	

別紙様式 5 - 2 (議員用)

平成30年 6月 25日

宝塚市議会議長 様

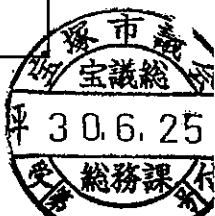
議員名

浅谷 亜紀



### 会場使用結果報告書

日 時	平成30年 5月 19日 (土) 13時 00分～ 17時 00分
会 場 名	宝塚市立地域利用施設 御殿山会館
場 所	宝塚市御殿山2-1-81
会場使用目的	市民への市議会報告と意見聴取
出 席 者	浅谷、市民
人 数	10人
開催した会議 行事等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術施設について</li> <li>・ひろば整備事業について</li> <li>・地域課題について</li> <li>・中央公民館の駅からの距離</li> <li>・地域での認知症ケアについて</li> </ul>



- 1/4 初出式 商工会議所新年互礼会 出席
- 7 消防出初式 出席
- 8 成人式典 出席
- 9 文教生活常任委員会所管事務調査
- 11-12 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「防災と議員の役割」
- 15 広報広聴委員会
- 16 すみれが丘小学校オープンスクール 来校
- 17 市総合防災訓練 議会運営委員会
- 18-19 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に」
- 20 おしゃべりサロン開催
- 23 認知症サポーター連続講座 1 出席
- 24-26 全国市町村国際文化研究所研修 参加  
「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」
- 30 認知症サポーター連続講座 2 出席
- 2/1 広報広聴委員会
- 5 校区人権啓発推進委員会講演会 参加
- 池田自治会 福祉食事会 出席
- 6 認知症サポーター連続講座 3 出席
- 7 文教生活常任委員会 事務調査
- 14 議会本会議 広報広聴委員会
- 15 放課後教室すみれが丘広場開催 見守り参加
- 16 コミュニティすみれが丘広場ネットワーク会議 出席
- 18 エステイオ1 番館 おもちゃつき 参加
- 23・26・27 議会本会議・代表質問、議員総会
- 28 文教生活常任委員会
- 3/2 コミュニティすみれが丘幹事会 出席
- 3 放課後教室すみれが丘広場開催 見守り参加
- 4 すみれが丘果菜公園遊具に関する意見交換会 出席
- 5 文教生活常任委員会
- 8・12・13・14・16 予算特別委員会
- 9 市立中学校卒業式出席
- 自治体研修報告会・交流会 (京都府立大) 出席
- 10 おしゃべりサロン開催
- 11 タカラツカ☆未来コングレス  
(甲子園大学生と議員との意見交換会)
- 15 議会研修 (新名神高速道路宝塚北サービスエリア(見学))
- 19 健康診断受診 (宝塚市立健康センター)
- 22 市立小学校卒業式出席
- 23 常任委員協議会
- 24 市立病院がんセンターオープン記念講演・内覧会出席
- 26 議会運営委員会
- 27 議会本会議 議決
- 30 地方議会総合研究所「質問力・議会力研修」参加



タカラツカ☆未来コングレス

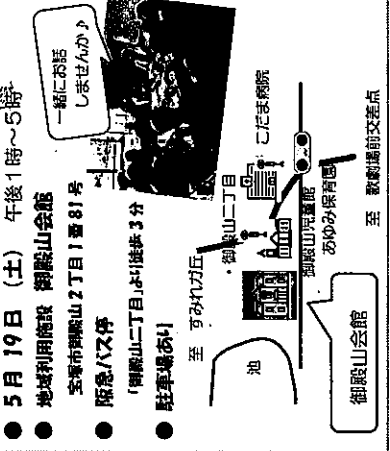
■ 「タカラツカ☆未来コングレス」開催

宝塚市議会では「開かれた議会」を自指して議会基本条例を制定し、多くの市民に議会に関心を持ってもらえるよう「広報広聴委員会」を設置しています。今年度からその委員を務めており、議会報かけはしや議会HP、議会報告会、議員交換会など活動は広範囲ですが、今般、「若者の意見を取り入れよう」と、市内にある甲子園大学にご協力いただき「タカラツカ☆未来コングレス(代表者会)」を開催。意見交換会としては7度目ですが、大学との連携は初めてです。大学側から示されたテーマ毎に議員も別れ、チームを編成し議論しました。

- ・Aグループ：学生生活と宝塚市の地域
  - ・Bグループ：管理栄養士が宝塚市にかかわること
  - ・Cグループ：地域の農業と食品
  - ・Dグループ：市のメンタルヘルス行政
- 頂いたご意見の中には「宝塚市と大学のコラボで農作物の加工品を作っては」「大学で行っている発達障がい児の相談に応募者が殺到。別カ場も設ける必要がある」「市内に若者が立ち寄る場をもっと充実してほしい」などあり、今後検討していきたいと願います。
- この取り組みは大変意義あるものでした。今後とも大学との連携を求め、若者や研究者の意見を政策提案に繋げられる体制を整えていきたいと願います。

■ おしゃべりサロン開催します！

議員として、議課題の判断の元となるのは市民のみならず、市民のみなさまの「声」です。どうぞお気軽にお立ち寄りください！



- 5月19日(土) 午後1時～5時
- 地域利用施設 御殿山会館  
宝塚市御殿山2丁目1番81号
- 障害者バスター  
「御殿山2丁目」より徒歩3分
- 駐車場あり  
至 すみれが丘 一級にお話しませんか?

# あさたに 紀

■ 宝塚市議会議員 無所属 新風改革の会

## ひとりひとりが輝くまちに

■ 2017年度 春のたより

# 市議会通信

■ 第27号

宝塚市が力か丘3-5-1-509 ■ 電話: 81-1825 ■ 白: 81-1825 ■ aki-asasatani@teikoku.co.jp

■ 宝塚市立病院「がんセンター」オープン

宝塚市立病院に「がんセンター」を開設しました。「がんセンター」の理念は「標準的ながん治療とがん支援を地域完結型で市民のために」データに基づいた医療で外科・化学療法・放射線治療を提供し、患者さんとご家族を医師や看護師、薬剤師など多職種チームで快適な環境のもと安全で確実な治療を支援し、がん診療支援センターでは専門スタッフが費用など側面的なカウンセリングや情報提供も行って参ります。

設置された高精度放射線治療装置「トモセラピー」は関西以南で初の導入で、性能が高く素晴らしい機器です。センター整備には、建物も加えると約11億円という費用が必要であったため、市内の民間病院ではなかなか不可能でしたが、今後の医療を考えたならば必要性が大変高いことから、公設病院として整備に踏み切りました。

生涯でガンと診断される確率は、男性では62%・女性では46%であり「2人に1人」と言えます。放射線治療は、ある一定の期間ほぼ毎日治療が必要であることから、遠方の病院に通うことで患者の負担は大変大きくあります。そういった意味からも、市民に寄り添う公立病院として、近くで安心して治療を受けて頂ける整備が望まれました。

「わたしたちは、あなたとご家族が歩んできた人生、これからの生活に望む事を教えていただき、最速と思える治療方法を提案したり、治療しながら生活をしていただく必要があるので、遠方の病院に通うことで患者の負担は大変大きくあります。そういった意味からも、市民に寄り添う公立病院として、近くで安心して治療を受けて頂ける整備が望まれました。」

「がんは日進月歩、最新医学の情報を揃えることができる人材がここにいます。どこで治療を受けても構いません。不安を抱えながら遠くに出向く前に、まずは傍らにいらっしゃるわたしたちとお話をしてみませんか」(がんセンターパンフレットより)



■ 宝塚市立病院 H30年度予算案 可決

収入総額	114億7866万4千円
支出総額	118億522万6千円
収支差引	3億2656万2千円

の赤字予算・・・ 内面に続く

■文化芸術施設 工事議案  
 賛成多数可決  
 整備が進んでいる文化芸術施設事業（カーテンフールズ跡地）について、工事請負契約に関する議案（16億8156万円）が出され、議会で賛否が大きく分かれました。

私は事業開始当初、「今後の高齢化社会では生活を守ることに多くを予算を要する。計画にない土地を目的もなく購入し、新たなハコモノを整備し管理するような財政的余裕はない」と反対しましたが、議会で反対多数で止められなかったため、その後、当事業は市民を巻き込みながら基本計画・設計と進んでいます。この事業は国の交付金（約40%）を得て進めており、計画には「5年間」という期限があります。

ここまでで計画を止めたり遅らせたらずれば、逆に交付金の一括返済（約12億6千万円）や工期の短縮など大きなリスクを負う可能性が高くなり、多くの市民に協力を頼って進めてきていることから、立ち止まる時期はとうに過ぎていると考えます。

また、期限付きの事業に対する市の計画管理の甘さは、指摘しなければいけないところですが、市は、当事業の重要性を大変高く設定。必ず市民が誇れる魅力ある文化芸術施設とするため、議会もよりよい案を提示しながら全力で共に進めるべきだと考え、議案に賛成しました。

■代表質問・予算案  
 委員会の質疑答弁より  
 ・保育所待機児童対策：市は、待機児童対策として30.31年度の2ヶ年計画で2園の私立保育所を誘致し、240名の定員を確保する計画です。今後も子育て支援や男女共同参画の視点から、整備を進めてもらうよう注視して参ります。

・手塚治虫記念館リニューアル事業：H26年のオープン以来、初の大規模なリニューアルを行います。展示、英語表記、グラフィックデザイン・入り口の他、デジタル技術を駆使した展示物など手塚プロと協議中。

・特別警戒区域レッドゾーン指定：県が長尾山系の調査をし、武庫川左岸地区の53箇所に對して特別警戒区域（レッドゾーン）と指定。中には、市有地10カ所・市有民有混在地在が15カ所あり、長尾山小学校や中山台コミュニティセンターなど公共施設も含まれています。対策として早急な対応検討が求められました。

・教職員の負担軽減：国の「働き方改革」でも教員の負担が大きく取り上げられています。その対策として部活動外部指導者の活用は重要で、現在57人を配置しており、新年度は5人増員の予定。外部指導者は土日の指導はできず、今後、適切な対応を求めます。

■宝塚市立病院 H30 年度予算案

全員一致可決  
 立案されている「改革プラン」では、7800万円の赤字となるはずであったのに、3億円を超える赤字予算です。その大きな原因は「医師の大量退職」。

13人いた消化器内科の医師が、昨年末に一気に10人減り、その後、研修医4人が正科医師となり7人という現状ですが、5人もの減員は、医療収益に大きく影響します。

これまでも医師確保は大きな課題でありましたが、当病院では質の良い医師の確保として、一般的な広台等ではなく関連医大の医局から派遣してもらっています。医師の異動は年間30〜40人あり、そのほとんどが大学医局人事であることから、こちらの要望に對して迅速な対応はなかなか叶わず。

■水道庁舎の安全性は  
 先送りされる？  
 今回、新年度に工事開始を予定していた「ひびはき補修事業（N・T・N跡地利活用）」について、市は文化芸術施設と整備時期が異なるため、負担を平等にしようという計画を3年遅らせる方針を示しました。

しかし、「ひびはき補修」は、耐震性に欠ける水道庁舎を移転させる目的があるため、議会では「水道職員や来庁する市民の命をどう守るのか」といった反対意見が相次ぎました。市は「水道庁舎部分だけでも移転できる」として、水道事業の補正予算をベースに新年度に對應する見込みです。

・新ごみ処理施設：H36の稼働に向け、現在整備基本計画を策定しようとしているところ。施設建設基金はH29年度末で11億5千万円余であり、まだ不足。今後積み上げが必要です。

・観光花火大会：マンシジョン建設などで、地域住民の安全性確保が難しくなったことにより休止しており、資金面等で課題があり、H30年度予算に事業費は算入していません。

■2018年度 当初予算案  
 賛成多数可決  
 ○一般会計 787億5000万円  
 社会保険費が大きく膨らんでいるのに加え（前年比1.8%増）市債の借り換えが約14億あることから、過去最大の予算編成となりました。

- 〈主な新増・拡充事業〉
- ・文化芸術施設（カーテンフールズ跡地利活用） 12億6000万円
- ・私立保育園誘致事業 4億6000万円
- ・手塚治虫記念館リニューアル事業 2億2500万円
- ・中央公民館整備事業（2期工事費） 2億5600万円
- ・長尾中学校屋内運動場（体育館）改修事業 7億7800万円
- ・すみれ墓苑管理事業（合葬式墓所の貸し出し） 3386万円
- ・小学校の英語教育 1246万円
- ・エイジフレンドリーシティ推進事業 691万円

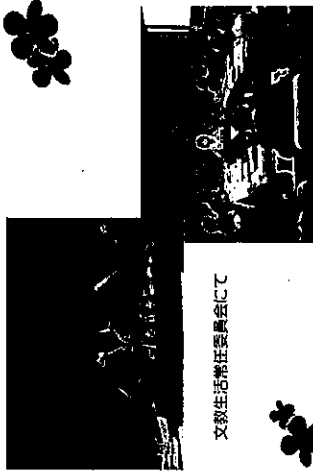
見直し状況は、以下の通りです。

廃止	： 9
一部廃止や縮小	： 18
統廃合	： 1
事務改善	： 25
計	53 事業
削減	合計 149 事業

他に、コスト削減など96事業 合計149事業、約1億9000万円の経費を削減することができ、この費用は効果としてH30予算に反映しています。努力による成果ですが、今後は市民サービスの低下に繋がることが無いよう、注視する必要があります。

■図書館管理運営事業について

「図書館サービス向上の検討」も、事業員直しの検討課題に。「閉館時間の延長などサービス向上に努めるとともに、指定管理者制度の研究を深める」とのこと。近隣市でも指定管理者を導入する自治体が増えてきています。予算ベースで3億を超える大きな事業であるにもかかわらず、市内登録者が3割未満の今の状態はもったいない。一般質問でも提案しましたが、サービス向上に加え「出合いの場」「繋がる場」としてまちづくりの拠点機能という付加価値を加える視点をもち、しっかりと研究してもらいたいと思います。



文教生活常任委員会にて

■宝塚北サードビルリニューアル  
 新名神高速道路、川西一丁目、神戸JCT間に、新たな「宝塚北サードビル」ができました。30フロア、風の「宝塚モダン」を基調とし、広さは西日本最大級です。フードコートやカフェシヨップ、ベビースペースなども整備され、中でも「トイ」には男性用では長距離移動時に助かる読書用シヤワリ、女性用では美しいパウダールームにシャンデリアなど優雅な気分が味わえます。おしゃべりや手厚な虫園遊グッズのほか、西谷の特産品もあり、宝塚を広くPRすることに繋がるよう願っています。高速を利用しない方も一般道からサードビルを利用できます。ぜひ足を運んでください。

別紙様式 1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	15
支 出 日	平成30年4月28日		支出金額	820 円	
支 出 先	JR				
支 出 内 容	4/28宝塚⇄立花@410×2				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧									議

別紙様式 3-2 (議員用)

出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

- 1 調査先 (研究・研修会会場)
- 2 期 間 平成 30年4月28日 ~ 平成 年 月 日
- 3 出張者氏名 (議員名) 浅谷 亜紀
- 4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付  
谷岡塾 平成30年~時代の今を読む

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
4.28	JR	宝塚~立花	410円	有・ <del>無</del>	
		立花~宝塚	410円	有・ <del>無</del>	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
		~		有・無	
合 計			820円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金額	計	円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ 2,000 × 1 人 = 2,000 円

【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。  
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



宝塚→立花 2018年04月28日12:30到着

11:56発→12:25着 29分(乗車20分)



乗換: 1回

20.8km

IC優先: 410円

定期券 通勤: 1か月 12,310円 / 3か月 35,080円 / 6か月 59,090円

11:56	宝塚	
4駅	J R丹波路快速・大阪行 2・3番線発→7番線着	410円
12:14着 12:23発	尼崎(東海道本線)	
	J R神戸線・西明石行 4番線発→2番線着	
12:25	立花	

# 谷岡 塾

～地方議員・自治体職員向け講座～

塾長：谷岡 慎一（豊岡市）

■テーマ：平成30年～時代の今を読む～

■開催内容：

平成も終わりが近づく今、2002年に書かれた堺屋太一氏の著作『平成三十年』を題材にワークショップを実施することで、現在の日本について、時代の今を読む機会とします。

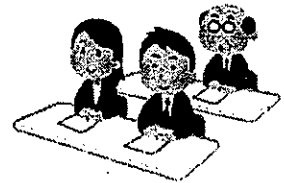
そのため、事前に課題文献を読んでおくことを前提に、当日はテーマごとに班に分かれ、各班で議論を深めながら、最終的に発表と質疑応答を行うものとします。

◎事前準備：堺屋太一『平成三十年』（朝日新聞社 2002年）を読了

◎塾前半：塾長による講話と論点の提示（1時間30分程度）

◎塾後半：班に分かれてのワークショップ（1時間程度）

⇒ 発表＋塾長・他班からの質疑応答



## 塾長紹介

谷岡 慎一

自治体プロ職員

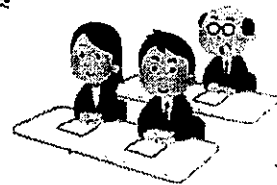


- ・中央大学法学部非常勤講師（2017年度）
- ・兵庫県立大学経済学部非常勤講師（2010年度～2011年度）
- ・国際法学会会員
- ・国際経済法学会会員
- ・著書『IMFと法』（信山社 2000年）
- ・共著『公民パートナーシップの政策とマネジメント』（ひつじ書房 2006年）

- 1969年6月 豊岡市生まれ
- 1995年3月 早稲田大学大学院政治学研究科修了
- 1995年4月 財務省（旧：大蔵省）勤務 大蔵省関税局総務課
- 2000年3月 東京大学大学院法学政治学研究科修了（人事院出向）
- 2000年7月 大蔵省国際局開発金融課係長（ODA（政府開発援助）担当）
- 2003年1月 北但合併協議会事務局長
- 2005年4月 合併により豊岡市発足 豊岡市行革推進室長
- 2009年4月 豊岡市経済部長
- 2013年4月 豊岡市但東支所長
- 2015年4月 但東振興局長
- 2017年4月 政策調整部参事（戦略的政策分野担当）
- 2018年4月 政策調整部参事（戦略的政策分野担当）・戦略的政策室長兼務

# 2018年期 第1回谷岡塾開催

## 平成30年4月28日(土)



■定 員： 20名程度

■日 時： 平成30年4月28日(土) 13:00~17:00 勉強会 (後、懇親会)

■会 場： 尼崎市市政情報センター

兵庫県尼崎市東七松町 1-5-20 TEL: 06-6489-6150

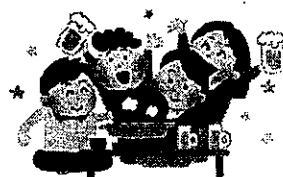
[http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/map/institution/01\\_034.html](http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/map/institution/01_034.html)

■費 用： 勉強会 2,000円 (資料代を含む)

懇親会 3,500円

※懇親会場： まごころ居酒屋 久一

兵庫県尼崎市西難波町 5-2-31

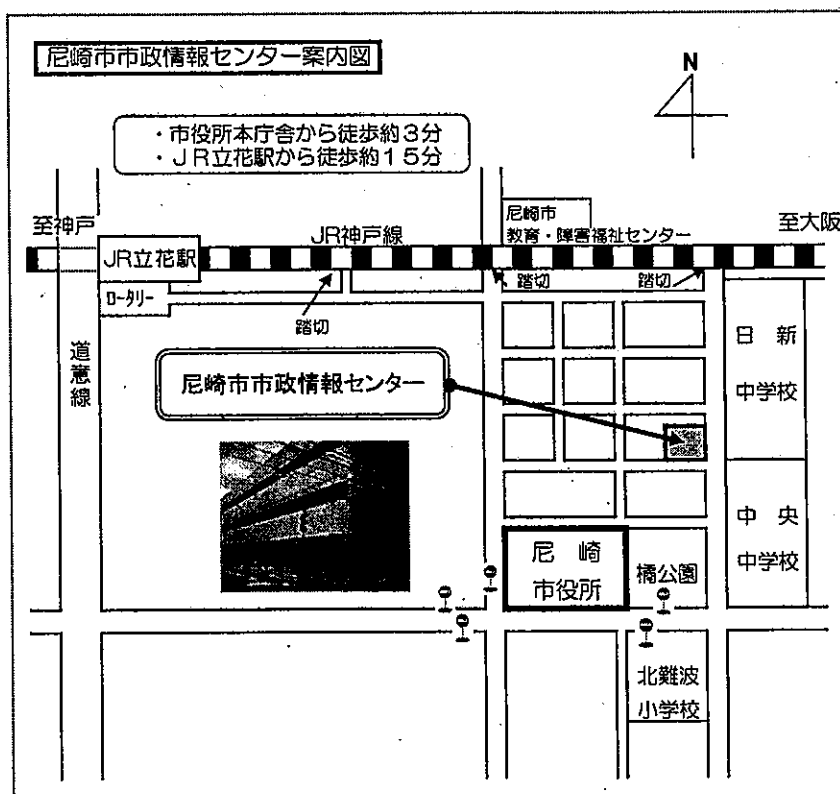


■申込・問合せ： 申込サイトから → <http://kokucheese.com/event/index/515211/>

検索する場合 「こくち一ず」 → 「谷岡塾」



■世 話 人： 北村 ([nyansuke77@gmail.com](mailto:nyansuke77@gmail.com))



### 【電車】

○JR神戸線「立花」駅から徒歩約15分。

### 【バス】(停留所：市役所)

○JR神戸線「立花」駅(上)から  
阪神バス14番「阪神出屋敷」行き、  
15番「阪神尼崎」行き

○JR神戸線「立花」駅(下)から  
阪神バス49番「阪神出屋敷」行き

○阪急神戸線「塚口」駅から  
阪神バス31番「阪神尼崎」行き、  
14番「阪神出屋敷」行き

○阪神電車「尼崎」(北)駅から  
阪神バス15番「阪急武庫之荘」行き、  
31番「阪急塚口」行き、

にそれぞれ乗車、「市役所」下車。  
徒歩約5分。

### 【バス】(停留所：橘公園)

○JR神戸線「立花」駅(下)から  
阪神バス43番・43-2番「阪神尼崎」行  
き、50番「JR尼崎」行き、50-2番「阪  
神杭瀬」行き

○阪神電車「尼崎」(北)駅から  
阪神バス43番「宮ノ北団地」行き、  
43-2番「武庫営業所」行き

にそれぞれ乗車、「橘公園」下車。  
徒歩約2分。



□「H30 年 時代の今を読む」

豊岡市但東支所長・戦略的政策室長 谷岡慎一氏

2002 年に出版された堺屋太一著「平成 30 年」

著者が予測した「未来」と現実の H30 年を比較し、時代の「今」を読む。

・国家財政

H29 年度国家予算

○予測

総額 307 兆 4320 億円

財政赤字 77 兆円 (国債比率 25%)

●現実

総額 99 兆 1095 億円 (補正後)

財政赤字 28 兆円 (国債比率 29%)

消費税の動向

○ H3 年 : 3% 9 年 : 5% 16 年 : 8% 23 年 : 12%

● H3 年 : 3% 9 年 : 5% . . . . . 26 年 : 8% 31 年 10 月 10% (予定)

引き上げる必要があるにも拘らず上げられず。経済的、政治的視点から

財政再建は遠い

プライマリーバランス H29  $\Delta$ 10.8 兆円

消費税 8% で 17 兆 1380 億円のところ、もし堺屋の予測通り 12% まで引き上げられていたら、8 兆 5690 億円の増収となっていた。

プライマリーバランスは大きく改善し  $\Delta$ 2.2 兆円となるが、それでも黒字化できず赤字は増加

・経済

○ 経済成長率マイナス、消費者物価上昇率 6% 税収の伸び 5%(10 兆円余)

国際収支 500 億ドル赤字 1 ドル 80 円 1 元 10 円

● H29 GDP 1.3% 増 消費者物価上昇率 0% 国際収支 4.2 兆円 黒字

1 ドル 107 円 1 元 17 円

・未婚率

○ 40 代独身男性 225 万人 出生数 100 万人割れ

● 40 代独身男性 242.9 万人 出生数 97 万 6978 人

未婚は男性が多く、離婚・士別は女性のほうが多い

・労働力人口推移

○ 2017 年 : 7500 万人を割り込む 2027 年 : 6980 万人

● 2017 年 : 7728 万人 2027 年予測 : 7072 万人 8.5% 減 就業者数は 2013 年から増加

ほか、介護、商店街再開発、物価と金利、農業、林業、教育、公務員数など現在と比較しながら、広域な社会事象について今後どうするべきかを考察。

別紙様式1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	16
支 出 日	平成30年4月28日		支出金額	2,000 円	
支 出 先	谷岡塾運営チーム				
支出内容	4/28「第1回谷岡塾」参加費として 出張調査報告書は支出書No15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

平成30年4月28日

領 収 書

浅谷 亜紀 様

以下のとおり領収しました。

金 2,000円

但し、「第1回谷岡塾」参加費として

谷岡塾運営チーム

会計 北村 幸司



(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	17
支 出 日	平成30年6月20日		支出金額	10,216 円	
支 出 先	一般社団法人マニフェスト研究会				
支出内容	7/11~7/12 全国地方議会サミット2018「議会のチカラで日本創生」 参加費 振込手数料216を含む				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可      ポイント      無      円減額

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。  
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額      ¥10,000  
振込手数料      ¥216

お受取人は  
三菱UFJ銀行  
日本橋中央支店  
普通      #200471  
イツハ・ソウヤタ・ソホウツツ マニフェストケン  
キウカイ 様  
お振込人は  
タカラツ カシキ カイ アサタニアキ 様

お取扱日30. 6.20 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻	印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 認 可 税 務 署 承 認 済
7672330		6.20	13:37	
			7824	
銀行番号	店番号	口座番号等		
00090378		****		

三井住友銀行

## 出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

- 1 調査先 (研究・研修会会場) 全国地方議会サミット2018「議会のチカラで日本創生」  
東京都新宿区戸塚町 早稲田大学大隈記念講堂
- 2 期 間 H30年7月11日～12日
- 3 出張者 (参加者) 氏名 浅谷 亜紀
- 4 調査項目・調査 (研修テーマ) の概要  
 講演・パネルディスカッション  
 ・地方議会から日本を変える・地方創生の展望・真の地方創生とは何か  
 ・地方創生をリードする議会へ  
ほか

### 5 旅費

月 日	交通機関	乗車経路	J R		私 鉄 地下鉄	航空機 その他	宿泊料
			運賃	特急料金			
7/11	電車運賃	宝塚 ～ 東京	km	km			
			9,290 円	4,870 円			
7/12	電車運賃	大手町 ～ 早稲田	km	km			
			165 円				
7/12	電車運賃	早稲田 ～ 大手町	km	km			
			165 円				
7/11	電車運賃	東京 ～ 宝塚	km	km			
			9,290 円	4,870 円			
7/11	電車運賃	～	km	km			
			円	円			
7/11	電車運賃	～	km	km			9,500
			円	円			
小 計			18,910	9,740	0	0	9,500
合 計			旅費@	38,150 ×	1 人 =		38,150 円

- 6 交通費
 

ガソリン代	円
高速代	円
駐車場代	円
自動車借上料	円
計	円

7 出席者負担金・会費 @ 10,000 × 1 人 = 10,000 円

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧									議



7/11-12

早稲田大学大隈記念講堂大講堂

# 全国地方議会サミット2018

## 議会のチカラで日本創



左から：早稲田大学マニフェスト研究所 所長 永尾 隆、早稲田大学マニフェスト研究所 副所長 中村 隆、早稲田大学マニフェスト研究所 理事 山崎 隆、早稲田大学マニフェスト研究所 理事 山崎 隆、早稲田大学マニフェスト研究所 理事 山崎 隆、早稲田大学マニフェスト研究所 理事 山崎 隆

少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が自治体に突き付けられています。そのなかで、議決権をもつ議会は、魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性をもっています。サミットでは、早稲田大学大隈記念講堂に先進的な議会が集結し、政策で地域に貢献するための実践について議論します。「地方創生時代を議会がリードする」そんな新時代への大きな場面転換の場に、これからの議会のあり方を全国に向けて発信します。

### 《概要》

【日時】 2018年7月11日（水）13:00～17:30

2018年7月12日（木）09:30～16:00

【場所】 早稲田大学天隈記念講堂大講堂

（東京都新宿区戸塚町1丁目104）

【対象】 議会議員、議会事務局職員、一般 1,000名

【主催】 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟

マニフェスト大賞実行委員会

【共催】 早稲田大学マニフェスト研究所

【参加費】 現職議員 10,000円

議会事務局職員、一般 5,000円



※参加費は7月5日までに名前を明記しお振込みください。手数料はご負担ください。

三菱UFJ銀行・日本橋中央支店・普通・0200471 一般社団法人マニフェスト研究会

※1日目終了後、18:00～意見交換会を大隈ガーデンハウスにて開催します。

先着200名様。参加費（一人4,000円）は、意見交換会会場にて当日お支払いください。

※参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自で手配ください。

### 《お申込み》

裏面FAX用申込み用紙またはwebサイトからお申込みください  
<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

### 《お問合せ》

早稲田大学マニフェスト研究所（担当：永尾、中村）  
TEL:03-6214-1315 / E-Mail: mani@maniken.jp

■ 1日目：7月11日（水）13:00-17:30 ※プログラムは変更の可能性がございます

【基調講演】「地方議会から日本を変える」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事

【特別講演】「地方創生の展望」

野田聖子 総務大臣

【講演、ディスカッション】「真の地方創生とは何か」

片山善博 早稲田大学教授、元総務大臣／地方創生と地方議会の役割  
大西一史 熊本市長／震災復興と地方創生

【課題整理】「地方創生時代に求められる議会力」

江藤俊昭 山梨学院大学教授

【パネルディスカッション】「議会力強化のための、議会事務局の変革」

小林宏子 東京都羽村市議会事務局長

清水克士 滋賀県大津市議会局次長

▽進行：千葉茂明 月刊『ガバナンス』編集長

※終了後、意見交換会を開催

● 2日目：7月12日（木）9:30-16:00

【先進事例報告①】「地方創生をリードする議会へ」

目黒章三郎 福島県会津若松市議会議長／住民との対話から課題解決へ  
子籠敏人 東京都あきる野市議会議長／広報改革から展開する議会改革  
ピアンキ・アンソニー 愛知県犬山市議会議長／自由討議で委員会提言へ  
川上文浩 岐阜県可児市議会議長／委員会代表質問と政策サイクル

▽進行：廣瀬克哉 法政大学教授

【先進事例報告②】「政策を実現する議会へ」

尾崎大介 東京都議会議長／条例マニフェストと議会改革  
松本研 横浜市会議長／議員提案条例による政策実現

【講演】「海外の議会制度から議会の多様性を考える」

中林美恵子 早稲田大学教授

○【パネルディスカッション】「多様性ある議会に向けた実践と課題」

本間まさよ 東京都武蔵野市議会議長

岩永ひさか 東京都多摩市議会議長

白川 静子 神奈川県茅ヶ崎市議会議長

【提言、総括】「政策型選挙の実現に向けて」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事、ほか ※終了後、参加者全員で記念撮影

《 FAX用 申込み用紙 》

お名前		電話番号	
ご所属		メールアドレス	
参加内容	<input type="checkbox"/> 1日目研修会	<input type="checkbox"/> 意見交換会	<input type="checkbox"/> 2日目研修会

FAX送信先 ▶ 03-6214-1186

出張調査（研究・研修参加）報告書（別紙）

日 時	2018/7/11. 12
調査先（研究・研修会会場） 全国地方議会サミット2018「議会のチカラで日本創生」 東京都新宿区戸塚町 早稲田大学大隈記念講堂	
調査（研究・研修）の成果・所見等 講演・パネルディスカッション ・地方議会から日本を変える・地方創生の展望・真の地方創生とは何か ・地方創生をリードする議会へ ほか	
別紙参照	



「全国地方議会サミット 2018～議会のチカラで日本創生～」

□「地方議会から日本を変える」早稲田大学名誉教授 北川正恭氏  
マニフェスト推進地方議員連盟

今回の企画に、議長有志50名が一緒に活動してくれた。

国会でも、地方創生を進めてもらいたい。

この国を地方から変え、パイオニアになろう。

首長は法律や規則、条例に縛られている。

議会が声を上げることで、分権を創生に繋げていくことができる。

23年前、三重県知事に就任した。

その前は衆議院議員であり、地方分権は衆参全会一致で決議され、進んできた。

知事の頃、県議会のボスに改革を依頼した。

真剣な議論の末、本気で県会で徹底的に改革を進めることを約束した。

議員はひとりひとりが住民の付託を受けている人。

「できる」「できない」執行部はしっかり示すべき。

情報が一方通行ではなく、ネットなどを使い双方向に進めることが大切で、オープン・フェア・フリーな行政をつくる。

ある時、行政のカラ出張がバレた。

従来から当然のように行われていた。

まずは透明化しながらPDCAを使い、改善してきた。

「マニフェストサイクル」

政治のスタートは選挙であり、

選挙のスタートはマニフェスト。

「お願い」選挙から「約束」選挙へ変えて行かねばならない。

議会の改革だけでなく、議員自身の改革を進める。

民主主義は時間がかかるもの。

TTP=先進議会の事例を「テっていきパくる」ことでも十分改革は進められる。

□真の地方創生とは 片山 善博氏

首長として地方を変えてきた

肝心なのは地方議会であり、かなり変わってきた。

この動きをもっと加速させる必要がある。

地方改革のきざし 変化はあったのか？

ほとんどないという答えしかこない

やってきたけどダメだったからやめるのか

日本の人口減少で、地方はダブルパンチ

なぜ上手くいかないか

何もやらなかったわけではない

今までやってきたことを洗い直す

地域経済が敗退する理由を、考える

改善すべきはどこか 地域で考えるべき

国が地方を急かせる

地域のことを知らないコンサルに依頼して

よものができるわけがない。

議決事件を拡大する

地域に意見を求める

迅速であったことを、国が反省すべき

プレミアム商品券 地方創生として全国でやった

地域は活性化されたか

少子化はどうだったか

選択肢がある中で、これを国は予算化した。

地方議会で予算として議論が尽くされたか。

国が勧めるアウトソーシング

公共施設の指定管理者制度など地域本位に物事を考えれば、職員も変わってくる。

☐ 震災復興の地方創生 熊本市長 大西一史氏

熊本震災から2年。

2016.4.14 発災し、2日後に本震に襲われた。

最大震度7が2回。

避難所に避難できたのは、ほんの3割程度の被災者だけ。

圧倒的に場所が足りず、これから避難所について考えなければいけない。

発災直後、行政は市民に水1本配れない状況であった。

今現在も、まだまだ多くの方々が避難生活を続けている。

情報発信のため、ツイッターを使った。

「落ち着いて」「デマに気をつけて」「復旧には時間がかかる」など配信したが、文言には神経をとがらせた。

もし間違った情報を流したら、大混乱する。

大きなリスクがあることは重々承知の上で行なった。

議場も潰れた。

本震後、議会は4/25に全員協議会を開き執行部より被害状況等報告聴取した。

安否確認をしても、連絡がつかない議員もいた。

連絡方法など、危機に備えて議会も整えておくべき。

中には、ひと月間も公園で寝起きした議員もいた。

避難所に 10 万人。

本会議を開いて議論する間はなく、専決処分を決めていった。

発災後の議員の役割とはなにか。

第一に、地域との対話によるニーズの把握。

「議員」ではなく「議会」としての意見集約のあり方を検討しておくべき。

議員から各幹部職員に直で電話が次々に入る状態になり、執行部は苦情・要望に追われることになった。

個々の意見に翻弄され、判断が難しい。

「議会事務局に集中させてくれ」と、議会に要望した。

市の対策本部に議会が入ることになり、一元化された。

## 復興と地方創生について

「対話から政策へ」

市長に立候補するにあたり、マニフェストを作成するため対話会を開いてきた。

52 日間で 30 回の集会でのべ 1300 人が参加し、130 項目の約束を作った。

震災で、公助の限界が露呈した。

水さえ配れなかった。

地域防災計画では 5 万 8 千人の避難者を想定していたが、実際には 11 万人が避難所に。

110 カ所の避難所のうち、20 箇所以上被災して使えない状態だった。

2017 年に「まちづくりセンター」を整備。

地域まちづくりを支えるために行政の支援体制を充実させるため、17 箇所あった出張所や公民館を「まちづくりセンター」として再編した。

それぞれに地域担当職員をつけることに。

これにより、年間 1900 件の市民からの要望が集まった。

市民と情報を共有し、話し合い、解決に向かう。

対応済み 85%・着手済み 15%=100%

市民満足度は向上した。

地域担当職員は「御用聞き」ではなく、地域の課題を対話により解決していく

ex ゴミ屋敷

まちづくりセンターと地域住民が一緒になって対話で解決。

市民としっかり対話することで市民満足度は増し、より良いまちづくりが出来る。

□ディスカッション

北川氏、片山氏、大西氏

・震災議員の対応について

市長には情報が入る

議員にはなかなか入らないので、プロセスの時点で議会に提供していく

・発災後の長と議会の問題点は

災対本部に「復興に全力で向かってほしい。議会は補正をつける」と言ってくれた

議員が国とつないでくれた

自衛隊や国交相

災対本部に議会がどう入るか

議会は議場でなくとも開き、補正予算をつけるなど対応していく

・災害対策本部と議会の関わり

議員がどう対応していたのか執行部が分かっていないのは問題

議会と執行部が断絶してはいけない

仰々しい本会議だけでなく、あり方を確認する

制度的には「チーム議会」が必要

避難所の課題（トイレ、お弁当、疾病など）行政とともに議会でも把握する必要がある

それらを取り込み意見集約を

議員は「選挙のためにきたのか」と勘ぐられる

委員会として解決につなげると良い

適宜、予算など決めていく

特別の災害時には、議会を簡略化して良いといった議会運営が出来るようにしておく

国との話では、特別なルールは適応されない

・専決処分について

もちろんしない方が良い

議会が決定する仕組みは大切

普段はあり得ない額の専決処分だが、住宅再建には欠かせない

極端な例は除き、議会で議論は大切

議員時代には気づかなかったが、執行部はかなり議員を見ている

3回連続して質問すれば、

□課題整理

「地方創生時代に求められる議会」 江藤俊昭 氏

地方議会か地方を変え、全国に広げる

首長は法令に縛られる

議会は公開で議論する

危機管理〔例外条項〕民主主義

「議員は邪魔」？

どう体制を整えるか

阪神淡路 芦屋市議会 毎朝集まり、議長が災対本部に持っていく

返事を全議員に返す

議会 BCP を作る

180 条専決 179 条専決を危機状況の中で議論する

平常時にこそ整えておくこと

・住民自治の根幹としての議会

議会のイメージは大きく変わった

閉鎖的→開かれ住民とともに

多様な民意を吸収できるのは議会だけ

・議会改革の現地点は

・これからどこに進んでいくのか

二元代表制

首長とくつつくもしくは批判だけしていればラク

自由討議、

どう福祉の向上につながるのか

議会からの政策サイクルを回す

執行機関に対し、合議体で、総合的視点で議論する

参考人の招致

議会報告会

制作サイクルの起点に住民を添える 議委員会会の中に市民が参加

委員会の代表質問（可児市）

など

行政改革は

議会改革は地域民主主義の実現

議会基本条例の再検討

連続性と目標設定

□「議会力強化のための議会事務局の変革」パネルディスカッション

千葉茂明

清水克士 大津市議会局次長

小林史子 東京都羽村市事務局長

・小林

人口 5 万 6 千人

会議規則に従って行動

議員に嫌われないように、

「職員の強化」

もともと事務局の仕事は、議員へのお茶汲み、お弁当の準備、金銭管理など

委員会に関する規定はほとんどなく、本会議のみ

前例とは違う動きがあれば、事務局も対応できない

全国市議会議長会の全国標準規則に沿って変更を提案

35条追加、削除あり

規則改正が議決

・清水

執行部にいた時の経験と事務局職員のギャップ

議会の常識は世間の非常識

情報公開度

「申し合わせ」でルールが決まる

市民は知らない

見える化を図っていく

HP 例規集で分かるように規則を廃止し、規定を作る

「前例踏襲」執行部では批判される

議会では褒められる

過去の前例を調べ、そのまま進める

合理的に納得させられない時に使う

「横に並べ式」他市に合わせる

標準会議規則に沿っている

・議員と事務局職員の関係

小林：事務局は黒子としての役割

「チーム議会」で政策提案

実績としてチームに入るべきかと問われたら、入りたくない

清水：政策立案

議員と事務局職員が唾み合っているは何もできない

仕組みとしてつくるべき

千葉：職員を投入し、議会をあおる

栗山町議会 小さくても、やる気があれば作れる

小林：職員の話に議員が耳を傾けてくれた

先進的な議会を目指したわけではなく、目の前の課題を片付けただけ

清水：外の世界へ出ないと、分からない

自己完結しないで、話を聞きに外に出かけてみるべき

出世には不利だが、笑って死ぬる人生を

## 先進事例報告①

□「住民との対話から課題解決へ」会津若松市議長 目黒章三郎氏

- ・市民との意見交換会から政策を。サイクルをつくる。

1人の「議員」ではなく「議会」としてテーマを設定し話を聞く  
意見の集約が重要なので、ルールを決めて分類し、広報広聴委員会で整理する  
有識者による助けも借りることもあり

□「広報改革から展開する議会改革」あきる野市議会議長子籠敏人氏

- ・広報紙表紙をフリーペーパーのようなデザインにする

余白を大切に、見やすく、情報量よりまずは手に取ってみたいくなる工夫を  
座談会で子育てママに議会について意見を聞き、写真を入れ関係者に読んでもらう  
聞かせて「あなたの未来」子どもにインタビュー。親や知り合いは必ず見てくれる

- ・大切なのは「詰め込み過ぎない」とこ

読んでもらうことが重要

- ・号ごとにターゲットを変える

消防団 若者・子育て 若いママ・子ども エリアごとに載せるなど必ず読んでくれる人の輪を広げていく

議会だよりリニューアルを駅立ち、通年議会にした。

議長公務日程を公開する。新たな気付きがある。

議会災害対応マニュアルを載せる。議会の本気を知ってもらえる。

「議会のトピラ」「ぎかいの森」「ギカイの時間」など、冊子の題名にも工夫を

デザインは市民が無償で協力してくれた。

愛着を持ってもらえるよう、市民力を活用する。

□「自由討議で委員会提言へ」犬山市議会 議長 ビアンキアンソニー氏

議員間討議は大変重要

議員どうしが議論しなければ、議会として結論など出せない

一般質問・議案審査の後に全員協議会をひらき、当議会での「課題」を議員全員で討議する  
議員の多くが課題であると感じる個人の質問を「議会」全体の意見にまとめていく

対策として複数の具体案が出れば、議長が最大公約数で意見を集約する

議員1人の意見を「議会」の意見に変えることで、執行部に対し大きな力にする。

□「委員会代表質問と政策サイクル」可児市議会 議長 川上文浩氏

対話がないと物事は進まない

常に対話する状態をつくる。  
議会の力が地域の未来を創る

議会のモノサシは「住民福祉が上がるかどうか」ということ

議員個人の一般質問を所管事務調査や委員会で議論する  
個人ではなく「議会」のものにする

→当議員は、「自分のもの」ではなくなるが、可児市民の福祉向上のために取り上げられる事を喜んでいる

委員会としての「代表質問」も行う

一般質問が軽視されないか、一般質問から重要なものを拾って委員会や代表質問にしていくことで  
議会全体としての取り組みにして行く

□先進事例報告・パネルディスカッション

目黒：議員間討議で調整基金を増やす

雪が多い地域で、もともと除雪は公金でしなかったが、調整基金を使ってするようになった政策転換を迫って実現してきた

子籠：議会だより 表紙を開いてすぐに「引っ越してきた人」が登場する  
前の居住地で良かったことやここでの課題を拾い、委員会で成果物にしていく

ピアンキ：議長マニフェストをつくる

一般質問は執行部に向けるだけでなく、議会に向かうもの  
市民にプロレス参加に意味があることを認識してもらう

川上：議会が意見を言うことで、学校のエアコン設置に至った  
県の職員を参考人招致なども行った

議長は周りと対話しながら行うことが重要。

意見交換会はすべて公表。その中から政策に繋がるものがある。

・議長の役割とは

目黒：肩書きはただの手段。得て何をどうやりたいのかを考える

市民との意見交換会は無意味と言われたことがある。

大切なのは論点を共有すること。論点抽出表を作る。

議長は、仕組みを作ること。そこをしっかりと工夫することでよりよく次につなげる。

子籠：広報紙の改革

議長として各議員の取り組みたいことが実現できるよう、情報を提供する。

委員会を活用したり、調整係として適任者を招致したりする

ピアンキ：議長マニフェスト

議員間討議



議長は委員会に参加しないが、メモを取り、答弁が納得できないものをまとめリスト化する  
議会ごとに「大きな課題」を議員からテーマを出してもらい、無ければ議長が決める  
新しいことに対する議員の抵抗もあるが、意見があればその場で申し入れ委員会に付託する  
議員が乗りやすい雰囲気づくりも大切

川上：常任委員会と各団体の懇談会

議長は団体の長と調整する

意見交換会で難しい人は（クレーマー）は議長室に来てもらい、個別対応する係りに徹する

・議員は個人プレー。議会として何を成果とし、どう議員を動かすか

目黒：議会改革はひとつの運動

2・6・2 先端（やる気の人）・中間（どちらでも）・無関心（足引っ張りの人）

みんなのベクトルを合わせるための仕掛けの問題

子籠：議会の全会一致 議会報表紙に関して

感心がない議員は変革を望まず、前例踏襲で済ませたい

変える為に、10枚の案を出して市民の声を聞く 市役所に貼りだし人気投票

我が市も入れる 良くないことが分かる

現実を見せ、議員を動かす

ピアンキ：改革に足を引っ張ろうとする議員対策

公開の場ですると反対しにくくなる

川上：先例や申し合わせが足かせに

所信表明をして、議運は委員長+会派

決算を予算に反映させることが大切であり、

税金の使い道にちゃんと市民の意見を入れているか

市民にフリースピーチしてもらおう

議場で発言することは市民にとってよい経験になる

決算提言は全会一致で

文言整理でまとめていく

行政計画は、ラブコメの前に議会に説明してもらい意見を入れる（子籠）

選挙終了後、所信表明を集約する

5つの柱を設定

受け持つ委員会を決め、一連の体系をつくる

先進事例報告②

□政策を実現する議会へ

「条例マニフェストと議会改革」東京都議会議長尾崎大介氏

東京都議会に議会基本条例は無かった

議長になり、議会改革を進めたいと考えた

議会改革検討委員会を設置し、まず1年経って公用車台数を削減。

元々、議会専用公用車は22台。

公務でなくとも議員が使っていた。

政務活動費の使途 飲食を伴うものは×など

とりあえず1年。

まだまだ改革途中。

議員提案条例

「子どもを受動喫煙から守る条例」可決。

○ バコ産業、飲食店、麻雀店など大反対の中、整った

関係団体からヒアリング

検証の網の目を細かく

「法は家庭に入らず」ではあるが、臨機応変に

児童虐待を防止する条例

横浜でH26年に制定された条例を参考に

都議会議員127名

知事と政策を張り合う気持ちで条例作り

都は予算も莫大であり人数も多いが、まだまだ議会改革は進んでいない

○ スピーディに進めたい

議員報酬2割減 かなりの議論があった

報酬減と改革は別ではないか

□「議員提案条例による政策実現」横浜市議会議長 松本研 氏

10年前からの取り組み

市民からよく理解されていない

2000年 地方分権改革一括法制定

国と地方が上下から対等協力の関係に

地方創生 地方から改革が進められるように

政策実現の方法の変化

地域の独自性に合わせた政策を議員から提案し、条例制定

議員提案条例は4年で13本制定

議会改革につながった

議員提案条例の傾向

縦割り行政に、横串を刺す

議会と首長が互いに高め合う二元代表制

条例を提案することと制定させることの違い

議論してまとめる難しさ

副作用に対する覚悟

・事務局との関係性

東京都は議員127人に対し議会局250人

政策的なサポートだけではなく

議長に向けた裁判7件

頻繁に世界から議会視察など

日本最大の議会が動き出した

東京23区 議会改革の空白地帯であったが、動き出すのではないか

横浜市 条例案策定にあたり市の職務や役割、市民のそれらを法的にアドバイス

市民のメリット より良いものなのか

政策情報にかかるニュースレターも出されている

今回、議会改革のヒントが多数盛り込まれた研究会であり、とても有意義でした。

また、地方議員としての在りかたや、国との関係、執行部との関係などについても助言がもらえ、活動に活かしていきます。

別紙様式 1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	18
支 出 日	平成30年7月11日		支出金額	38,150 円	
支 出 先	JR 東京メトロ 楽天				
支出内容	7/11-7/12 JR:宝塚⇄東京@14,160×2 東京メトロ:大手町⇄早稲田@165×2 (領収書なし) 楽天:7/11宿泊料¥9,500 (京王プレッソイン九段下) 出張調査報告書は支出書No17に添付				
〈領収書等添付欄〉		裏面使用または別紙添付可	ポイント	無	円減額

領 収 書 浅谷 亜紀 様

Receipt

領収年月日 2018.-7.11

金額 ¥28,320 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(30220 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅

宝塚駅F1発行 40221-01

印紙税申告納  
付につき大定  
税務署承認済

領収書

宝塚市議会 浅谷亜紀 様

伝票番号: 74129598

---

お名前 : あさに あき  
宿泊金額 : 9500 円  
宿泊施設 : 京王プレッソイン九段下  
チェックイン日 : 18-07-11  
チェックアウト日 : 18-07-12  
人数 : 大人1名様  
予約番号 : RYa08ns4kf  
但し : クレジットカードにて決済  
発行日 : 2018/07/23

---

ご利用ありがとうございました。 楽天株式会社  
〒158-0094 東京都世田谷区  
楽天クリムゾンハウス  
<http://travel.rakuten.co.jp/>



宝塚→早稲田(東京メトロ) 2018年07月11日11:00到着

06:59発→10:58着 3時間59分(乗車3時間17分)



乗換: 3回

587km

IC優先: 14,325円 (乗車券9,455円 特別料金4,870円)

06:59	<b>発</b>	宝塚	
5駅		JR丹波路快速・大阪行 2・3番線発→8番線着	9,290円
07:28着 07:30発	○	大阪	乗車位置: 前/中/後[7両]
		JR京都線・京都行 7番線発→6番線着	
07:34着 07:46発	○	新大阪	
5駅		JR新幹線ぞのぞみ300号・東京行 24番線発→19番線着	自由席: 4,870円
10:20着 10:33発	○	東京	
	・	徒歩	
10:43着 10:48発	○	大手町(東京都)	
5駅		東京メトロ東西線快速・中野行 4番線発→2番線着	165円
10:58	<b>着</b>	早稲田(東京メトロ)	

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	19
支 出 日	平成30年7月23日		支出金額	7,516 円	
支 出 先	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所				
支 出 内 容	7/25-7/26 第2回「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」参加費 振込手数料¥216を含む				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可      ポイント      無      円減額

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。  
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。  
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額      ¥7,300  
振込手数料      ¥216

お受取人は  
シカ  
カラサキ  
普通 #461158  
サ"イ)セ"ソコクツチヨウソクソクソクソク"イタ  
"ソ 様

お振込人は  
タカラツ"タツキ"カイ アサタニアキ 様

お取扱日30. 7.23 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻	印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 認 済 承 認 済
7672430		7.23	13:58	
銀行番号	店番号	口座番号等		
00090378		****		

三井住友銀行

供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
覧									議

別紙様式 3-2 (議員用)

### 出張調査 (研究・研修会参加) 報告書

宝塚市議会議長 様

議員名 浅谷 亜紀



出張調査 (研究・研修会参加) の結果について、次のとおり報告します。

- 1 調査先 (研究・研修会会場) 平成30年度市町村議会議員研修2日間コース 第2回「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」  
全国市町村国際文化研究所 大津市唐崎2-13-1
- 2 期 間 平成 30年7月25日 ～平成30年 7月26日
- 3 出張者氏名 (議員名) 浅谷 亜紀
- 4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

自治体決算の基本と実践、決算の意義と審査のポイント  
決算審査の実践、決算審査の新しいアプローチ ほか

#### 5 旅費

##### ①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
7. 25	電車運賃	宝塚～唐崎	1,490円	有・ <del>無</del>	
7. 26	電車運賃	唐崎～宝塚	1,490円	有・ <del>無</del>	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
		～		有・無	
合 計			2,980円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

##### ②宿泊料

人	泊	金額	計	円
6	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

7 出席者負担金・会費 @ 7,300 × 1 人 = 7,300 円

#### 【記入要領】

- ア 出張調査 (市内を除く)、研究・研修会参加 (市外、市内とも) の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査 (研究・研修) 結果の概要、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。  
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。







平成30年度

市町村議会議員研修[2日間コース]

# 自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～

予算執行を明らかにする「決算」ですが、最近では予算編成と並び決算審査の重要性が注目されています。予算編成を見据え、決算審査のあるべき姿について考察し、行政評価や、地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査について学習します。

特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審議にも活用していく方法を、演習を通じて身に付け、地方議員が身に付けておきたい決算書類審査のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法を学びます。

## 開催要領

**日程** 第2回 平成30年7月25日(水)～7月26日(木) (2日間)

**場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

**対象** 市区町村議会議員の皆様

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※財政状況資料集など、細かい数字を確認しながらの講義・演習となりますので、眼鏡など必要な方は、予め準備して研修へご参加ください。より多くの方に受講していただくため、平成29年度市町村議会議員研修「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」を受講された方はお申し込みいただけません。また、平成30年度第1回研修を受講された方につきましても、同第2回研修は受講できません。ご理解くださいますようお願いいたします。

**募集人数** 60人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定は、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

**宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

**経費** 7,300円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

**申込期限** 第2回 平成30年5月21日(月) から 6月13日(水)まで

**申込方法** 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。※FAXの場合は、送付状裏面の受講申込書により議会事務局を通じてお申し込みください。

**受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

**事前課題** 研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただきます。また、参考図書の一読を、お薦めしています。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## ● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部  
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906  
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp

# 1日目(水)

11:00 ~ 入寮受付・昼食

12:30 ~ 開講・オリエンテーション

13:00 ~ 15:35 (途中 15 分休憩あり)

## 講義 決算の意義と審査のポイント

決算審査の意義・重要性と、その流れや審査のポイントについて学んでいきます。また、決算カードや財政状況資料集の読み方についても学習します。

15:50 ~ 18:00 (途中 10 分休憩あり)

## 演習 決算審査の実践

実際の決算書類を使いながら、決算審査のポイントを再確認していきます。また、決算カードを用いて、財政分析の演習を行います。

18:15 ~ 交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

# 2日目(木)

9:25 ~ 12:00 (途中 15 分休憩あり)

## 講義 理論編 決算審査の新しいアプローチ

行政評価について、基本から理解します。その上で、行政評価による決算審査について先進自治体の事例を学びます。

13:00 ~ 15:00 (途中 10 分休憩あり)

## 講義 実践編 行政評価等を用いた決算審査の実践

行政評価の理解を深めるために、演習に取り組みます。また、財務書類を用いた決算審査のあり方についても、実際の財務書類を基にして実践的に学びます。

15:00 ~ 15:15

## 閉講・事務連絡

※本研修は、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢克祐氏にご指導いただきます。

### 【講師紹介】

#### 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢 克祐 氏

2006年から現職。専門分野は行政評価論、公会計論、地方財政論。

総務省 地方公会計の活用のあるり方に関する研究会委員、外務省政策評価アドバイザー委員、秩父市行政経営アドバイザー等の公職を歴任されています。

主な著書は、「50のポイントでわかる 地方議員 予算審議・決算審査ハンドブック」(学陽書房)「一番やさしい地方交付税の本」(学陽書房)、「自治体の財政診断と財政計画～決算重視による財政マネジメント～」(学陽書房)、「増補版 行政評価の導入と活用～予算・決算・総合計画」(イマジン出版)、「自治体の予算編成改革」(ぎょうせい)、「自治体 歳入確保の実践方法」(学陽書房)、「自治体における公会計改革」(同文館出版)、「英国地方政府会計改革論」(ぎょうせい)等多数。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。  
なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

#### JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

平成30年度 市町村議会議員研修[2日間コース]  
 「第2回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」 時間割

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
7/25	水	11:00-12:00 受付 11:30- 昼食	12:30- 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稻沢 克祐	【演習】 (15:50-18:00) 途中休憩10分 決算審査の実践	18:15- 交流会	【大食堂】
7/26	木	【講義】 理論編 決算審査の新しいアプローチ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稻沢 克祐	【講義】 実践編 (13:00-15:00) 途中休憩10分 行政評価等を用いた 決算審査の実践	15:00-15:15 閉講・事務連絡			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

平成30年6月20日現在  
 研修担当：竹内、高畑

□出張調査報告書別紙 H30.7.25-26

全国市町村国際文化研修所 H30 年度市町村議会議員研修 2 日間コース  
第 2 回「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

・「決算の意義と審査のポイント」

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐氏

この研修の目的・3つの柱

### 1.財政民主主義

租税や公債など、住民に議会の議決を持って

歳入歳出は、予算の形式文書で議会の承認を得なければならない

決算の形式文書で議会の承認を得なければならない

### 2.決算審査の意義

決算審査とは、当初予算や補正で1年間の執行の結果、どのように反映されているか、

付帯決議は守られているか、

自分の質問に対する答弁が活かされているか

### 3.決算審査と予算審議の連動

1年のズレをどう考えるか・・決算審査の内容が予算審議に繋がっていく

事業の成果が得られないものが執行されたら、予算が甘かったということ

「いつまでに」「どこまでやるのか」決算で。

住民への説明タイミングも確認しておく

・決算の基礎 前提

ストックサイクル（ヒト、モノ、カネ）の変化

人口減少、高齢社会

生産年齢人口が減り、消費が減り、地方税収の減少に繋がる

一般財源収入が減り、支出が高止まり

1960年代に作られたインフラは50年経ってどうするか

→2040～50年には、今の12倍～13倍の投資的経費が必要になる

総務省 H26 公共施設総合管理計画の策定が義務付け

インフラ長寿命化計画の地方自治体版

今後、30年間の人口推計を基にした計画策定を

・総合計画 → 議決していれば、決算ごとに進捗管理すること

予算と決算・決算から予算への連動

答弁で「検討します」とした事柄チェック

要求型要望を受けたのちに査定・調整後に書類が出来ているので、審査時点では遅い

・12月議会

人事院勧告や給与条例改正などだけ終わりではない

9月決算で「検討する」といった事項は要求書に反映されているのかを確認する

→ なぜ予算要求に載らないか、いつ載るかまでチェック

まだ間に合えば審議の上で予算要求に載せていく

ex; 5年でオワリの補助事業→必ず期限を守ってもらうために4年目に確認し、しっかり他の予算に回す

★6年目・予算書に載ってないことを確認し、既得権化させない

期限内に成果を出してもらうことを確認しておく

・議会による決算認定

法定4書類 監査委員の決算審査意見書がある

議会だけに出る主要な施策に対する「成果報告書」を必ず確認する

ex.秩父市議会

行政評価の必要性を議会で取り上げられ、実施

「歳入歳出決算事項別明細書」があり、事業の目標値 実績値、細かい事務事業の数字も一目瞭然に

法定4書類

～演習～

不納欠損が増えることを恐れず、未済額をしっかりと徴収してもらうような体制を

・企業会計との違い

企業「量入制出」、

官庁「量出制入」歳出予算通りに執行されれば

・不用額

効率化努力によるものと、歳入減や参加者少数によるものなど分けて考えること

・自主財源の獲得努力 ★どこまでしているかを確認

使用料および手数料は他自治体と比較 する

→ 受益者負担の適正化しているか、運営経費のうち何%か。

受益者以外の市民の税が使われているので、確認すること

・諸収入

広告収入など努力の結果

「機会損失」→★他自治体がやっていてうちがやってないなら、その分は税負担になっている

自主財源の獲得努力

・出資した団体の財政状況確認

貸し付け内容 短期が重なり長期になっていないか 返せるか

・物品

公用車 減価償却費

・債権

諸収入 貸付金 返済されているか、収入未済額

・基金

運用の仕方、利子を取るように（他の自治体と比較）

・決算審査における着眼点（→総括★）

予算の執行によって目指す「目的」は達成されたのか

予算質疑は執行で遵守されたか

付帯決議は実行されたか

（住民の視点から）

予算の執行で財政状況はどうなったか

財政状況の好転に向けた行革は進捗したのか→将来に向けた運営

財政状況の中で実施すべき行政サービスは目的を達したのか、目的通り実行されたかどうか

どんな社会的弱者に対しどのような手だてができたか

・決算規模の年度比較

収支状況 プラスの推移となっているか 昨年と比較

財政構造分析

地方債、債務負担行為の状況

・財産の状況

行政財産から普通財産に 売却

★遊休土地をそのまま置かない 借り手を見つける

目的外使用 使用状況を確認 不法占拠？

施設管理 委託化→外部化すると確認しづらい

委託後、成果出せているか

出資団体 経営悪化→存続する意義は

損失補償契約の額 →大きすぎないか

・決算カード

「歳出の自治と歳入の自治」

歳出の自治

一般財源の50%程度の自主財源 政策実行に充てられる

歳入の自治

バラツキあり

地方交付税で補う（依存財源と言っているが保有財源）用途は自由

★類似団体比較カードで確認する

「骨太の方針」の中で「地方 2018年度の水準で確保」・・・ 3年に一回 述べられる

→「ある程度投資する」言われており、ここ3年は大丈夫と考える

2021 どんな国の方針が出るかで、次の予算を決めていく

・財政分析

収支健全性：払うべき金額が払えるのか

弾力性：今後、確保されているか

・単年度収支がマイナスでも、恒常的かどうかを見極める

単発的なものであれば良いが、財政調整基金残高に着目

審査時には前年度の決算カードしか手に入らないが、類似団体と比較は出来る

統計上の課題を改める方向に動いているかどうか確認

予算執行 前年度を改善好転させる方向に向かっているのかどうか

・実質収支

ex29年度の数字 マイナス3%・・・これまでプラス 大丈夫か

いきなりではなく数年前からの可能性もあり

どんどん財政調整基金取り崩し、27年度でゼロになっている？

24年度から赤字財政構造があった 早く見極め対処を

・経常収支比率

低い「弾力性がある」→投資的経費に使える

昔は標準的とは70%と言われたが、80%~90%台が一般的

下水道 インフラ整備にお金がかかり、どこも上がっている

★95%以上は用心 類似団体との比較を

・臨財債の考え方

全自治体の問題 全国でマクロ対応しかない 標準税率を上げる など

「トータルでコスト」で議論する

建設費と維持管理費

当初の建設費はほんの3割で、その後の維持管理費に7割かかる

「経常収支比率 どのくらい上がるのか」質疑

・余裕度

財政力指数が高い→留保財源が多い

単独事業で施設をつくる→留保財源が少ないと公債費返済に追われることに

・財政力指数 高さは？

0.6~0.7 平均 0.4 低くなってきたと考える

★有形固定資産減価償却率 資産老朽化比率

資産老朽化を喰い止める→投資する→借金残高が増える

将来的に、しっかり投資することも大切

決算で財政指標から読み取る

7/26

・「決算審査の実践」

2006年新地方公会計改革

公会計資料集 3年の猶予のあと今年度は揃う

3.31 開示 29年度の決算に財務諸表が揃う

貸借対照表

資産債務改革 2006年度の改革で全面に出された→資産は老朽化し、劣化している

第三セクターの資産は正しく計上されているか 目減りされていないか

債務負担行為 施術予定額 毎年〇千万など掘めるように

国保など、公営企業会計もいよいよ最終的に一般会計に影響を及ぼすであろう会計を

現金、一般会計だけしか明らかにならなかった会計が、第三セクターや公営企業も連結で分かるように

「行政改革推進法」財務諸表を作成することが定められた 第2項「地方」

・固定資産台帳

全自治体に義務付け→資産・財産が明らかになる

・公会計改革

現金主義から発生主義へ

現金主義とは、取引は現金が動いた時→現金が動かなければ、認識しない

現金の出入り

発生主義 何事も取引があった時点で認識→2億円の宅地の寄付 現金主義ではなし

土地の資産 2億円増加 収益 2億円増加

・貸借対照表

・世代間の負担の公平 6:4 or 7:3 など

施設が新しくニーズがある「現在」がより多く負担するという考え方で、「5:5」ではない

資産を集約化し売り払うことで資産を減らす、サービスは充実させる 合築と複合の違い

財政健全化は行政サービスを減らすのではなく向上させる

そのことについて説明責任を果たし、市民に将来世代のために理解する責任を求める

★つくった資産は「行政サービス提供能力」を数値化させたもの

「便益計算」

道路→交通事故を減らす 移動の速さ 経済性を上げる

事故を減らす→警察や消防の出動回数減

怪我の所得保障がいらぬ

教育の便益とは 水準の向上により生産能力が高まる モラルが向上し、犯罪発生率が減る

→GDPに反映



2億を超える便益が生まれる

問題は、「使われて、住民の福祉を増進させることに寄与しているかどうか」  
稼働率を確認→住民の税金を使っておいて劣化していくことを黙認するのか

#### ★減価償却費

1. サービスを提供する使われることのコスト

2. 資産老朽化度を示す 簿価で資産額を示す

1000万のコストがかかる→見合うだけの稼働を求める

道路 平均渋滞時間が15分減少 1年後にも検証する

渋滞が緩和→事故が減少→数字を出してもらう

もともと、外部要因を明らかに「事後が起こりやすい」検証

★数字が出の動き 経済活動の活発化や気候条件、人口移動など逆行する可能性

使われているかどうか

サービス提供能力が落ちていないか

決算で確認していく

★将来負担が増えても減価償却率を下げていく必要がある 指摘

全体会計 一般会計プラス病院、国保、介護

連結会計 全体会計プラス財団など

#### 健全化法

一般会計と普通会計とほとんどの自治体で同じ

「一般会計等」は一般会計と特別会計

普通会計と違い、早期健全化団体に指定された気持ちで臨む

健全化計画をつくり、議会で議論し管理する

財政を悪化させる

決算不認定の効力は

確認行為 遡って否定されないが、10月以降の予算編成 予算議決に向け効力がある

・行政評価を用いた決算審査

☞成果とは

行政の仕事によって地域の状態や住民生活の質がどう変わったか 改善したのか

→住民の満足度は向上したのか

「最小の経費で最大の効果」

☞成果とは

事業成果

介護講習会の回数、参加者数←何をしたかだけ

ボランティア登録した 実践した ←これが成果

→住民生活の質が変わる

★指標例 P20

参加者 ○○増加数

→担当の努力で良い状況に持っていきける

事故を減らす 大きすぎる目標

→担当がそこまで出来ない

★ロジックモデルと評価視点

「需要」→投入→活動→結果→成果

需要と投入の間に 必要性和妥当性

→行政が関与するか

→目的達成のために妥当か

60回×300人=300万円

このままの数字で下げられないか

★効率性有効性の議論

→NPOなら150万で出来る など

→電子化し、仕事量を減らす 先進市例

→ステップを減らす

★目標達成度を確認

達成度が低い→使用テキストが貧弱

同一対象に重複事業（担当課別）が組み込まれていないか 1つにまとめる

費用だけでなく1度で済む参加者のメリットも

→議会の役割は全体を見渡す 横串を刺す

・事務事業評価表

総合計画は目的と手段での4層構造で出来ている

★開始して40~50年経っているものは、大きな目的が変わっていることがある

時の流れ、環境の変化

投入指標 100万 0.3人

活動指標

成果指標 住民生活がどう変わったか

目的と手段に分ける

「対象に働きかけて意図の状態にさせる」

成果指標が意図を達成できるものになっているか

→抽象的すぎないか 大きすぎないか

予防接種 感染症予防 市の感染率の変化

接種児童数 ←「成果」は何をしたかではなく、その結果どうなったのか

→県内最悪だと心配して役所に行く

結果、感染率が低下したと説明 対象児童 100%になれば、1年後にはもっと下がる

←安心して子どもを育てられる環境の整備

★自分がした仕事でどのような改善があるか どう指標に落とし込むか 妥当性、  
何をもって成果というか

・行政評価

事務事業評価・施策評価 予算決算に伴奏していくために

総合計画 議決 施策評価

毎年度目標達成に向かっているのか

5年目だけでなく、中間目標を設定し、チェック出来るように 数値管理できる形を

名古屋市の評価シート

情報が足りなければ加えてもらう

・自治体関与の必要性・妥当性

<演習>

収支健全性の分析

歳入額、財政調整基金残高の推移

歳出額、墓の基金残高の推移

単年度収支の推移

など

## 別紙様式 1

(会派名または議員名 浅谷 亜紀)

## 政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	20
支 出 日	平成30年7月25日		支出金額	2,980 円	
支 出 先	JR				
支出内容	7/25-7/26 宝塚⇄唐崎@1,490×2 出張調査報告書は支出書No19に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

宝塚→唐崎 2018年07月25日11:00到着

09:18発→10:40着 1時間22分(乗車1時間9分)



乗換: 2回

82.3km

IC優先: 1,490円

定期券 通勤: 1か月 38,870円 / 3か月 110,790円 / 6か月 209,900円

09:18	<b>発</b> 宝塚		
4駅	J R 丹波路快速・大阪行 2・3番線発→7番線着		1,490円
09:37着 09:38発	○ 尼崎(東海道本線)	乗車位置: 前/中[6両] 前/中[8両] 前/中[10両] 前/中[12両]	
4駅	J R 神戸線新快速・野洲行 8番線発→2番線着		
10:14着 10:26発	○ 京都		
3駅	J R 湖西線・近江舞子行 3番線発→1番線着		
10:40	<b>着</b> 唐崎		